

検証委員会聴取記録

○聴取日：平成29年7月29日（土）11:00～11:40

○植木元校長

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
戸田	質問	大田原高校の部活動や学校行事における、事故防止対策、連絡体制について聞きたい。	植木元校長	県外や宿泊をともなう部活動については、引率許可願を提出させ、具体的な復命書をもって報告するよう職員には周知していた。
戸田	質問	登山部の事故など、何かがあった時の、連絡体制は明確になっていたか。	植木元校長	普段の緊急時の報告系統は、事故発見者から担任や周囲の教員に、そこから部長や教務に、緊急時には直接教頭に連絡するよう周知していた。報告については、誰が、いつ、どこで、何を、どう対応したかという、4W1Hを職員に周知していた。平日においての事故発生時は、危険防止をした後に、すぐに教頭に連絡し、いじめが絡むケースなどが考えられるので、できれば現場で写真を撮り、状況をメモに残すよう指示していた。保護者へは、生徒より先に教員が連絡すること、休日の救急搬送については即刻、教頭もしくは校長に連絡すること、複数で対応すること、メモを簡潔にまとめ教頭に提出することも求めていた。
戸田	質問	事故の第一報はどこから、誰が受けたのか。	植木元校長	9時30分頃、那須塩原警察署刑事課[■]さんより「大田原高校山岳部から緊急救助要請が入った。」と教頭に連絡が入った。そのときの内容では雪崩の情報はなかったと教頭から聞いている。10時頃また[■]さんから「山岳部生徒の携帯番号を教えてくれ。」との連絡があった。生徒の携帯番号については学校で、全てを押さえてなかつたので、個人調査票の保護者連絡欄を基に、担任・副担任、学年担当職員が各家庭に連絡をした。
戸田	質問	県教育委員会、県高体連本部とか、保護者への連絡は具体的にどのように行ったのか。	植木元校長	生徒の安否や警察・消防・保護者に対する重大な内容については教頭に窓口を一本化した。生徒の携帯番号の確認は正副担任、その他の保護者以外の連絡については、臨機応変に対応した。私（植木元校長）は、主に教育委員会、また高体連本部、他校校長との連絡担当だった。特に学校教育課、宇梶課長とは何度も電話のやり取りをした。
戸田	質問	教頭の対応が多岐にわたる。補佐をしていた方はいたのか。	植木元校長	鈴木教務主任。当日、それ以降の対応についても、常に教頭の横で対応に当たってくれた。特に記録を担当した。

戸田	質問	宇都宮高校の校長との連絡内容は。	植木元校長	11:00頃那須塩原警察署 [] さんから、無事だった学校について直接電話を受けた。無事だった学校について、宇都宮高校校長に連絡したかと思う。救助者が、山の上に到着したと思われる11:45以前には、生徒の安否については、伝わってこなかつた。大田原高校の生徒の安否が分かったのは、午後2時、3時頃だったと思われる。助かった [] という生徒は、心肺停止との連絡を受けたがこれは誤報だった。猪瀬教諭から教頭にあった電話では、[] については無事との連絡があり、安否の確認については神経質になった。無事だったといわれて実は死亡していたとの誤報は、後々大変なことになると思ったので、相当慎重に複数の情報をもとに教頭が電話で伝えていた。
戸田	質問	保護者からは、報告が遅いし中味もよく分からないとあったが、正しい情報が得られなかつたということか。	植木元校長	御家族からしてみれば、このような事が起きているのにと思われるるのは当然。学校では間違ったことは絶対に伝えないと第一の方針とした。それが遅いと評価された理由の一つだと思う。
田中	質問	全国の高校に向けて、事故対応について、どういった所に留意したらいいのか、今後どういった提言をしていけば社会に役立つか、という観点から考え方を聞かせてもらいたい。	植木元校長	ひとつは、生徒の携帯番号を一覧にして学校に置くこと。これをしていなかった理由は、女子生徒と職員の不祥事が起因。男子校とはいえども個人情報の取り扱いについては慎重になっていた。泊をともなう遠征等については連絡先を一覧にして、常に机において置くことは必要だった。もうひとつは高体連本部と専門部の関係性。春山安全登山講習会はこれまで、高体連主催、専門部主管として実施してきた。しかし高体連本部としては主催したとの認知はない。監督責任の範囲も曖昧だ。高体連本部が20、30ある各専門部の細かな行事全てに目を光らせることは困難。どこかで線引きをして、スポーツ振興課、教育委員会が全てを監視しているといった体制づくりが今後のテーマのひとつと考える。
大西	質問	今回の講習会と、一般的の登山とは、位置づけとして同じだったのか違うのか、先生のお考えがあれば教えてもらいたい。	植木元校長	大田原高校としては「講習会」という名前通りに考えてしまった。内容からすれば、茶臼に登るということもあるので、これは登山計画書を出すべきだし、審査にもかけるべきであろうと考えている。
大西	質問	校長や登山専門部部長としての立場はあるが、どちらの立場としても講習会として認めたということか。	植木元校長	そうだ。

北村	質問	講習会というものをどのように捉えていたのか。	植木元校長	前々年度に猪瀬教諭に講習会の内容について尋ねた。「冬山には全部の学校が行くわけではないし、かといって5月に登っても雪はほとんどない。雪上での歩き方、ロープの使い方、雪洞の掘り方など雪上での訓練がやりたい。危険のないところで、危険がない範囲でやる。」と説明は受けていた。
西村	質問	講習会について保護者への説明は行ったのか。	植木元校長	していない。猪瀬教諭でないと正確には分からぬが、これまでしていないと思う。
西村	質問	春休みの先生方の勤務状況は。	植木元校長	オリエンテーションで、ほとんどの職員が出勤していた。春休みは新年度の準備があるので出勤率は高い。
西村	質問	先生方は何かしらの部活動の顧問をしているのか。自由意志で顧問をしているのか。	植木元校長	本校では全員顧問に入っている。それも複数入っているものがほとんど。副顧問については2つ、3つについているものもある。
北村	質問	顧問と副顧問の複数がついているのか	植木元校長	必ず複数ついている。(特に副顧問については)希望とか、専門性とか考えていない。野球部の部長ですら素人。教員が実際に専門としているスポーツの顧問となることの方が少ない。
北村	質問	顧問を決定するのは校長先生か。	植木元校長	最終的な決定は校長。原案は教頭と特活部長が作成する。
田中	質問	生徒が自主的に力量アップの時間を割き努力しないと統率できないと伝えられているが、学校のリーダーとして、そういう実状を把握して、先生方に助言をするようなシステムはあるのか。	植木元校長	全職員個人面談の時間を設けている。その中で、部活動の話もしている。部活動の専門性と個人の努力のことについては、先生方の個人の努力に待つところが大きい。苦しいところはどうしても若い先生に頼らざるを得ない。
田中	質問	毛塚先生はそういったことの相談はなかったか。	植木元校長	教頭は受けっていたと記憶している。剣道が専門で剣道の指導は熱意を持って行っていた。登山の事について「この間足が痛かったんだって。」と聞いた事があるが、「今は大丈夫です。」と答えていた。非常に謙虚で控えめな教員であったから無理をしてしまったのか。もう少し彼から話を聞くべきだったかなと思う。
戸田	質問	天候が不順で、中止や変更をするときのシステムについてはどのようにになっていたか。	植木元校長	天候等についてこれまで連絡を受けたことはない。連絡を受けるときは「無事下山した。これから解散する。」という報告と、怪我等をしたとき。
戸田	質問	前日からの雪とか、天候不順で、雪崩の危険性があるなど感じなかつたか。	植木元校長	全く任せきりになってしまった。教頭は出発前に、猪瀬委員長に、「天候について大丈夫か。」と聞いていたと、私も今日初めて教頭から聞いた。本人は外部の影響を考えて遠慮はしていたが、これは重要なことだから、必ず今日委員の先生方に聞いてもらった方がいいと話たので、この後話があると思う。

戸田

質問

最後に何か言いたいことはあるか。

植木元校長

第一報告書の80ページの事故後の対応についてで3点ある。「大田原高校では保護者の多くが学校からの連絡に先んじてテレビ等のニュースで雪崩れに関する情報を得る事態となり」という一説があるが、できる限り情報は早く伝えた。テレビの情報より先に情報を入手できたのは、無事な学校の情報だったと思う。そこは、大田原高校ではという書き方はどうかなのかと思った。2点目は「情報不足と各方面からの問い合わせ等により適切な対応が取れなかつた」というところだが、窓口を一本化した事については先ほどの通り。学校内でできる処対処としては適切に対応できたと考えている。3点目、「緊急時における保護者への連絡、関係者への情報提供を含めた連絡体制は不十分であり、連絡体制が整備されていなかつた」に関しましては、個人調査票を職員室に常備して対応した。一覧表があったとしてもさほどの差はなく連絡は入れられたと思う。「連絡体制が整備されていなかつた」という記載は残念。連携に関して、事故時の危機管理本部との学校個別の連絡はほぼなかつた。一番頻繁に連絡したのは学校教育課長だった。遺族には言えないが、教頭はじめ、職員は大惨事に対応して、献身的な努力を継続してくれた。特に教頭は忙しい立場でありながら、よく倒れずにやってくれた。脅迫の電話、殺人予告、私自身に来たいいくつかの手紙、内容は橋本会長と私の名前を挙げて殺す。日本刀を持った人が葬儀の場に入るという電話が入り、告別式には警察が入ってくれた。学校教育課では、即日二人の職員を送ってくれた。各種対応に協力を得られ助かった。いくつもの安全弁を突破してしまい、結局こういった事態になつたが、最後の最後のところが気になる。第一次報告書の59ページの「毅然とした態度で、明確な指示を出す必要がある。」はその通りだと思う。生徒がそのときに重大性を持ってそれを受け止められる、そういう生徒と教員の関係作りが大事だったかなと考える。菅又教諭は大高の教諭ではないが、経験に関する限りは一番深い経験を持っている。彼が1班担当は妥当、また本校教員の塚教諭が1班に入ったこともおかしくはない。ただリーダーが「ここまでだ。」と言った時に、どうにかならなかつたのかなと思う。最後の安全弁だつたと思う。今の若い担任の先生は生徒に寄り添いたいと思う気持ちが先で、厳しく叱る事を避ける。そういうことを考えると、学校教育全般に渡る問題なのかな。いじめが見逃されてしまうことも、こういうことが関係していると思う。

検証委員会聴取記録

○聴取日：平成29年7月29日（土）11:40～12:20

○植木元校長 堀江教頭 鈴木教務主任

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
戸田	質問	事故後、第一報としてどの様な内容が入ったのか、またその情報を保護者へ発信したときの状況を伺いたい。	堀江教頭	9時30頃、那須塩原署刑事課 [] さんから「大田原高校の顧問の先生から緊急救助要請が入った。学校では何か知っているのか。」と連絡があったので「分からない。」と回答。その後猪瀬教諭に携帯で電話をかけたが繋がらず、10分後に猪瀬教諭より電話があった。「ホテル大高から自分が救助要請をした。雪崩が発生し生徒が巻き込まれた様子。詳しいことは分からない。」との連絡だった。その後、10時頃、那須塩原署 [] さんから「生徒の携帯番号を知りたい。」との連絡を受ける。担任・副担で校長室に集合し「至急保護者に連絡を取って、生徒の携帯番号を確認して下さい。」と指示。担任から保護者へ連絡し、携帯番号の情報収集をした。
戸田	質問	その後警察等から雪崩の情報が、どの様に入ったのか。	堀江教頭	雪崩が起こったこと以上の内容はどこからも入らなかった。本校生が巻き込まれたみたいだぐらい。後でわかったことだが、猪瀬教諭は救助の現場ではなくて、レストハウスで搬送されてくる生徒の安否確認をしており、全体的な概要がつかめない状況が続いた。それを打開しようと、本校の植木教諭と副顧問の若林教諭を直接現地に派遣させ状況を確認させようとした。
戸田	戸田	若林・植木教諭から情報が入ったのか。	堀江教頭	二人とも現場ではなく、国民休暇村にいるように警察から言わされたため、実際に彼らから情報が入ってくることはなかった。
戸田	質問	心肺停止とかの情報が入ったのはどの時点からか。	堀江教頭	警察から、昼ぐらいだったか。最初警察から、[] という生徒が心肺停止と言われていた。直前に猪瀬教諭と話をしたときは、「[] は無事だ。怪我もさほどしていないので、救出活動を一緒にしている。」と聞いていた。情報が正しくないので、慎重に確認しないと家族には伝えられないと判断。猪瀬教諭と連絡が取れない状態が続き、確認に手間を取った。その後家族と連絡をした。
戸田	質問	他の子ども達についてはどのように情報が入ったのか	堀江教頭	他の子の情報も入ったが、[] については誤報だったのがわかった。
戸田	質問	保護者は、テレビでは報道するのに、なかなか学校から情報が来ない。教頭先生も様々な対応をしており難しい状況にあった。鈴木教務主任はそこでどのようなサポートをしていたのか。	鈴木教務	教頭は猪瀬教諭や、警察、家族と電話のやり取りをしていた、私はマスコミやクレーム対応にあたっていた。NHKの女性記者には5回ぐらい対応をした。重要な情報のやり取りは教頭が窓口となり一本化していた。
戸田	質問	教頭につなげる、つなげないの判断をしていたのか。	鈴木教務	そうである。

戸田	質問	記録は鈴木教務主任が担当だったのか。 後で記録を整理したのか。	鈴木教務	全ての記録を取る余裕はなかった。 校長・教頭と話をしながら記録をまとめた。
戸田	質問	登山に限らず、学校での緊急事態時の対応や体制で必要と感じたことは。	堀江教頭	対応・役割分担を明確にすべき。例えば校長は県教育委員会とか他校の校長とのやり取りとか、教頭は家庭家族であるとか、教務主任はマスコミ・報道であるとか、一般の方からの問い合わせは、他の職員で対応するなど。また緊急時の電話回線の確保。本校は3本電話回線があるが、そのうちの一本を家族との連絡回線に確保するとかができるとよろしいのかと。
田中	質問	緊急時における保護者への連絡、関係者への情報提供等についての体制は十分だったのか教頭として現在の考えは。	堀江教頭	私がやるべき事が多すぎた。各方面の連絡や情報提供は必ずしも十分ではなかった。ただ情報そのものが入ってこなかったので、お伝えする内容もなかった。保護者からの電話は常に繋がるようにはしていた。
田中	質問	学校と講習会をやっている現場での対応がもう少ししっかりと流れていれば、情報提供はできたかなと思うが。	堀江教頭	猪瀬教諭とは携帯電話でやり取りをしていたので、猪瀬教諭が着信に気がつけば連絡はできた。むしろ本校に電話をかけてくる保護者の回線がふさがっている状態が多くて繋がりづらかったのではないか。
田中	質問	着信履歴がなかったような事が一部記載されているが、猪瀬教諭には学校から連絡はしていたのか。	堀江教頭	猪瀬教諭が救出の現場に行っている訳ではないので、運ばれてくる生徒の名前を確認して、彼もどこで事故があったかもつかめない雪崩の情報もつかめない。
田中	質問	職員室にはテレビはあるのか	堀江教頭	テレビが観られるパソコンがある。
田中	質問	そのテレビは見たか。	堀江教頭	見ている余裕はなかった。
田中	質問	こういう事態があると大体テレビをつけっぱなしにするっていうはどここの組織でもやることだが、ここではどうだったか。テレビで事故の報道をやっているのを気付いたのはいつ頃か。	鈴木教務	テレビを見た記憶がない。
田中	質問	保護者はテレビを見ていた。学校ではテレビを見ていなかったということになるとそこは若干保護の感覚と齟齬があったと言えるのではないか。	堀江教頭	職員は見ていた。その情報は私には伝わらなかった。
田中	質問	職員が見ていたというは何で知ったのか。	堀江教頭	職員室で職員がテレビを見ている姿を見た。インターネットで検索をしている職員もいた。
田中	質問	その時教頭先生はテレビを見るという発想にはならなかったのか。	堀江教頭	実際の所、電話が終わると次の対応が待っていて、これが終わると打合せという状態だった。
田中	質問	今回の一連の事故を、委員会で提言するとすれば、どういったことが考えられるか。	堀江教頭	役割分担と、電話の回線増設、指示の徹底を図るために、必ずメモをもって職員に周知を図ること。
北村	質問	今回、鈴木教務と二人で対応できて良かった。お一人ではとても対応できることではなかったと推察する。	堀江教頭	新入生のオリエンテーションがあったので、二人とも学校にいた。

北村	提言	今回は登山だが、それ以外でも大きな事故が起きると大変だが、メインとなる教頭先生とかともう一人つく必ずつくような体制は必要。		
大西	質問	教務主任のサポートはよかつた。講習会の開催にともない不安はなかったか。	堀江教頭	講習会前に天候を確認していたところ、3月27日に雨マークが付いていた。雪マークはついてなかったが、猪瀬教諭を呼んで、「27日天気が荒れたらどうするんだ。」と聞いた。要項には荒天じゃない限り茶臼岳に登山すると書いてある。「もし荒天だったら中止します。」との猪瀬教諭の言葉を信じた。
西村	質問	生徒の携帯番号の照会を受けて、警察に連絡をしたのは何時頃か。	堀江教頭	FAXで送った。実際には1年生の分しか確認が取れなかった。何時頃送ったのか記憶はない。
西村	質問	資料の個人調査票のサンプルには、緊急時の連絡先として、親の携帯番号が載っている。事故以前はそれがなかったとか、自宅に連絡してもつながらなかつたとかと話を伺っている。基本的には携帯番号は載っていないのか。	堀江教頭	これは入学時に提出してもらうもので、担任はこれを使って保護者に連絡して、生徒の携帯番号を聞いた。自宅の番号だけのものや、両方書いてくれているものもある。今回の事故を受けて、繋がるもの複数必ず記載を求めるよう改善した。
戸田	提言 質問	個人情報保護との関係もあるが、連絡先一覧は大きな事故が起こるかもしれないとの前提のもと準備しなければならない。連絡先一覧は全員に配布するのではなく、引率顧問、学校と高体連など共有すべきと多方面から指摘されている。この辺のお考えは。	堀江教頭	熱中症などの救急搬送などのケースも考えられるので、必ず連絡可能な連絡先を複数記載してもらう必要はある。
戸田	質問	例えば土日で学校にほとんどの先生方がいない場合の良い対策は。	堀江教頭	今回の事故を受けて、部活動等で生徒を引率する際は、生徒の携帯、保護者の連絡先を記載するフォーマットを作成した。そちらをデータとして残すのと私に一部提出してもらっている。この夏休みから行っている。
大西	質問	猪瀬教諭は山岳部の連絡先一覧は作っていないのか。あれば猪瀬教諭に直接生徒の携帯番号を聞くという方法もあったと思うが。	堀江教頭	たぶん猪瀬教諭が連絡網は作成していると思う。猪瀬教諭に直接聞くことは、思い浮かばなかった。
大西	質問	テレビからの情報収集はしなかったのか。	堀江教頭	余裕はなかった。
戸田	質問	何か言いたいことは。	堀江教頭	第一次報告書の内容で、一部残念な箇所があった。混乱があったとか、整理されていなかったとか、本校ではそれなりに誠意を持って対応をしたつもりなのでちょっと残念に思えた。
西村	質問	NHKから5回ほど取材があつたということだが、そこから情報を得ることはなかったか。	鈴木教務	電話の中味は記者会見はいつやるのか。その一点。クレームの対応で、一件あたり30分とか40分とかかかるので、とてもそのような余裕はなかった。

【検証委員会聞き取り結果】

聴取日 : 平成29年7月29日(土)

記録係 : 吉成

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	春山安全登山講習会に参加する前、講習会にどの様なイメージを持っていたか、またどの様な勉強ができると思ったか。	[REDACTED]	雪山を登る時の、滑落防止や、どうやって登るかなどの技術を学べるとおもった。1日目の講習はそれに特化した内容かと思った。
大西	質問	1日目の講習会はどうだったか。	[REDACTED]	一日目の講習の中味はよく分からなかった。
北村	質問	今何年生か。	[REDACTED]	今[REDACTED]年生。
北村	質問	この春山講習会は今回を入れて2回目と言うことか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	行く前には御家族には、講習会のことをどの様に話をしていたのか。	[REDACTED]	特に講習会の中味については話はしてなかった。スキー場での講習会に行ってくると父に言った。
大西	質問	2日目に班分けがされて、色々な訓練があったと思うが、どの様な内容だったか。	[REDACTED]	冬山の斜面を登るとか、雪洞を掘るとか、弱層テストとか、ロープを使った山の登り方、ロープの結び方、ピッケルを使った滑落防止など。
大西	質問	例えばその中で、キックステップなどの話はなかったか。	[REDACTED]	斜面の登り方などはあった。
大西	質問	講習かそのものは、自分にとってどうだったか。	[REDACTED]	斜面の登り方、ロープの結び方など勉強になった。
北村	質問	2日目の講習で嫌だったことや、面倒くさかったことや、先生が言うから嫌々やった事とかあったか。	[REDACTED]	普段の登山より楽だったので、嫌なことはなかった。
大西	質問	3日目の朝、「講習の内容が変わるよ。茶臼に登るのを変えるよ。」とは誰からどの様な形で聞いたか。	[REDACTED]	テントの中にいて、誰か先生の声が聞こえて、「茶臼登山中止です。」と聞いた。「7時過ぎにラッセル訓練をします。」というような話があった。
大西	質問	その時は茶臼に登るつもりで起きて、食事も作って、さあ行くぞという感じだったのか。	[REDACTED]	というよりは、さすがに茶臼を登るのは中止だろうが、講習会中止とは言ってなかつたので、何かしらはやるのだろうと思っていた。
大西	質問	去年の講習会のプログラムは同じような内容だったのか。	[REDACTED]	去年は雪が少なかったので、2日目も上の方に行かなければ雪がなかった。3日目も暖かかったので、Tシャツ1枚ぐらいで行けるぐらいだった。
北村	質問	さすがに茶臼に登るのは中止だろうと思った理由は。	[REDACTED]	一日でこれだけ雪が積もる経験はなかつたし、登山は危ないと思ったから。
大西	質問	3日目の講習が中止になって、別な訓練の事をいわれたが、どの様に説明されたのか。	[REDACTED]	ラッセル訓練。
大西	質問	それは誰が。	[REDACTED]	まず6時30頃登山は中止と聞いた。何かしらやるのだろうとテントの中で待機をして、7時過ぎぐらいに、「ラッセル訓練をしますので、昨日と同じ装備で来て下さい。」とテントの中で聞いた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	茶臼岳登山の場合には、学校単位で動くことになっていたが、昨日と同じ装備で集まって下さいと言われて集まって、全員が集められたのか。	[REDACTED]	スキー場のロビー前に集められた。学校ごとの説明しか覚えていない。
大西	質問	それからは、班としての話になるのか。	[REDACTED]	班ごとに分かれて、各先生ごとに指示をもらつた。
大西	質問	菅又先生から言われたことはどの様なことか。	[REDACTED]	よく覚えてないが、一本木まで横一列でラッセル訓練をする。
大西	質問	その指示を受けて、どの様に動き出したのか。	[REDACTED]	皆、ラッセル訓練ができるように横一列になって、一本木方面にラッセルをした。慣れてる人は結構早く行つてしまつた。
大西	質問	一本木まで行ってその後のことを聞かせて欲しい。	[REDACTED]	一本木に皆集まって、説明をしてもらった。この斜面を登る。ラッセルの先頭は、少し行つたら変わるよう指示を受けた。
大西	質問	その指示は菅又教諭からか。	[REDACTED]	そう。
大西	質問	実際に歩き始めてどうだったか。	[REDACTED]	前を当時2年生が、後ろに先生が並んで進んだ。違う方に行つたら「こっちの方がいいんじゃないかな。」と後ろから指示していた。「雪庇があるから気をつけな。」などの指示があった。ラッセルの先頭を変えるよう指示があったが、前を行く二人が体力があるから、ずっと二人が先頭を行つていた。
北村	質問	この日の講習は大変だったか。	[REDACTED]	ラッセルをしているわけではなかったので楽だつた。
大西	質問	雪の深さはどれくらいだったか。	[REDACTED]	膝までいかないくらい。
北村	質問	先ほどラッセルしていないから楽だったと答えたがそれ程のラッセルではなかつたのか。	[REDACTED]	先頭が既に進んだ後だったので、ついて行く分にはそれほど大変ではなかつた。
大西	質問	他の班の様子はどうだったか。	[REDACTED]	休憩したとき、3班が追いついてきた。
	質問	休憩は何回したか。	[REDACTED]	足がつってしまった人がいたので、何回か休憩した。
	質問	それはどのあたりか。	[REDACTED]	分からん。.
	質問	そこは林の中か、林を抜けたところか。	[REDACTED]	斜面の途中。
北村	質問	先頭の二人は元気だったのか。辛そうだったのか、変わつて欲しいとか、俺たちばかり先頭など文句などは言ってなかつたか。	[REDACTED]	その様な事はなかつた。
大西	質問	一旦休憩をした後、先に進んだが、そのときの先生とのやりとりの中味を教えて欲しい。	[REDACTED]	斜面をピッケルなどで掘つて休憩をしていたが、後ろから別の班が来たので、道を空けるか、先に進むかどっちかとなって、じゃあ行くぞということになった。後の班もそこで休憩をした。
大西	質問	どこまで進むかという話はあったか。	[REDACTED]	ないと思う。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	急斜面が終わった後の様子は。	[REDACTED]	斜面で休んだ後、5分か10分ぐらいして、少し平らになっている所で休もうと指示があつたが、もう少し先まで行けるという感じだった。
大西	質問	先までいけるかとは誰が言ったのか。	[REDACTED]	そこで休もうと言われたが・・・・・・
大西	質問	休もうと言ったのは。	[REDACTED]	菅又先生が急斜面が少しだらかになった所、休もうとは言ったが、自分達からすれば、急斜面で休んだばかりなので、またすぐにそこで休むのはどうかなという感じで、今までこういうことで・・・・
大西	質問	今まで。ということで皆で話をしたことか。	[REDACTED]	皆というより、前にいる人たちで、岩まで行って大丈夫じゃないと話をして、岩まで行った方が風もないだろうと判断して。
大西	質問	菅又先生は何か言ったか。	[REDACTED]	「いいよ」としか言ってなかった。
大西	質問	その岩っていうのは、どこだろう。天狗岩かな。	[REDACTED]	分からない。目の前に1個だけ見えた岩。
大西	質問	その岩の下に、ブッシュというか木があるようだが、それはわかるか。	[REDACTED]	記憶はない。
西村	質問	この写真で、自分たちはどのあたりまで行ったか。	[REDACTED]	※写真上で確認。
北村	質問	目の前に見えた岩はどれか。	[REDACTED]	※写真上で確認。分からない。
西村	質問	樹林帯の中を登っていたときと、上に行ったときで、雪の深さは変わったような気がしたか。同じだったか。	[REDACTED]	変わった気はしなかった。ラッセルした人の後だったので。上に行って風が強くなってきた。
大西	質問	雪はどうだったか。	[REDACTED]	雪はあまり変わらなかった。視野は見づらくなつてはいた。
大西	質問	実際に雪崩れに巻き込まれてしまったが、そのときの状況を聞かせてほしい。	[REDACTED]	前の人にはぴったりくつっていたが、いつの間にか巻き込まれていた。
西村	質問	流れてきた雪の状態は、大きな塊だったのか、さらさらだったのか。	[REDACTED]	さらさらだったと思う。
田中	感想質問	ルートの写真①～⑥のポイントを確認してほしい。違和感があるポイントはあるか。	[REDACTED]	これだけ多く止まれと指示があった記憶がない。
田中	質問	この指示っていうのは、直接菅又先生からあるわけではないんだね。	[REDACTED]	ペースが速かったので、後ろがついていけるよう止れと指示があった。
田中	質問	[REDACTED]君とか、[REDACTED]君とか、[REDACTED]君とか、[REDACTED]君とか先頭を行ってて、[REDACTED]君はその次の5番目くらいにいて、菅又先生はずっと後ろだから、指示が直接聞こえる訳ではないんだね。あるいは大きな声で言ったから聞こえた時もあったのか。	[REDACTED]	だれか仲介したこと也有った。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中	確認質問	7時30分に最初に集まった所は、ロッジの前か。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	1班だけが他の場所に集まっていることはなかつたか。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	菅又先生からラッセルをやると聞いたか。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	木が生えているところに行つて、そこで少し待ったのか。	[REDACTED]	そこで、休憩を兼ねてか、菅又先生から登り方とかの説明があった。
田中	質問	そこで、[REDACTED]君が先頭を行つて、登つて行った。	[REDACTED]	[REDACTED]君の方が先。
田中	質問	[REDACTED]君と[REDACTED]君がその後先頭を交代したのか。	[REDACTED]	わからない。
田中	質問	隊列の順序は、自分ではありませんから知らないのか。5番目くらいにいた事ぐらいか。	[REDACTED]	2年生の列は分かるが、1年生は分からない。
田中	質問	菅又先生がコースを後ろから指示したという事だが、樹林帯を登つたのか、沢筋を行つたのか。	[REDACTED]	分からない。
田中	質問	最初の方の人が、ラッセルして行つて、その後5番目だとすると、踏んでる後だから少し楽だったと、その場所は木がいっぱい生えている高い部分だったか、やや低い場所だったか。	[REDACTED]	記憶がない。
田中	質問	木が生えている高い部分を通つたという記憶はあるか。	[REDACTED]	一番高いところではなかった。
田中	質問	高いところは歩きづらいのではないか。	[REDACTED]	よくわからない。
大西	質問	菅又先生が道が違うよと言つたのはそんな時だつた。	[REDACTED]	どっちに行つたらよいか迷つた時。
田中	質問	風が強くなってきたのは、写真のポイント何番目か。	[REDACTED]	③④のポイント。ちょっと休憩しているとき。
田中	質問	菅又先生が、少しだらかな所に行つたら休憩しようと言つたのは覚えているか。それは写真で何番か。	[REDACTED]	はい。⑤のポイント。斜面があって、少しだらかになって、また急斜面が続く様な景色だった。
田中	質問	少しだらかな所に行つたら休憩しようと言つた少しだらかな所が⑤番なのか、菅又先生が言った場所が⑤番なのか。	[REDACTED]	⑤番のあたりが少しだらかなので・・・・
田中	質問	それでは④番のあたりで言ったのか	[REDACTED]	はい。
田中	質問	菅又先生の言う少しだらかな所では一旦休憩は取つたのか。	[REDACTED]	取つてない。取ろうと言つたが、前の人には「岩まで行った方がいいんじゃないですか。」とと言つて了解した。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中	質問	そのときの岩は、⑥番の方に黒い点があるがそのことなのか、それとも、天狗の岩という大きな方を意味しているのか。	[REDACTED]	ただ目の前に見えた岩は1個だけだったので、それだなと思います。
大西	質問	その岩は大きく見えたか。	[REDACTED]	存在は分かったが、大きいかどうだったか……
田中	質問	⑤番⑥番から見てかなり上方にあったのか、目線のほぼ水平に近いあたりにあったのか。上方を仰いで見たのか。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	生徒が岩のところまでと言ったところの内容だが、元気のいい何人かが言ったということか。	[REDACTED]	前の方で話をしていたのはわかったが、岩の所まで行った方が風を防げるのではないかといった内容の話。
田中	質問	という話を直接聞いた訳ではない。	[REDACTED]	ない。ただ、岩まで行っていいですかというやり取り、菅又先生とのやり取りはあった。
田中	質問	岩まで行った方がいいと言ったのは誰かわかるか。	[REDACTED]	聞いたのは[REDACTED]君だったと思う。
田中	質問	前の方にいたのは、[REDACTED]君、[REDACTED]君、[REDACTED]君だよね。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	4人のうちの誰かが言った可能性がある。	[REDACTED]	だと思います。
田中	質問	スタートしてから、5分から10分して雪崩が起きたと言うことだが、そのときの先頭グループは先ほどの4人か。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	雪崩が起きたとき[REDACTED]君の近くにいた人は誰か。	[REDACTED]	前が[REDACTED]君で後ろが[REDACTED]君。
戸田	質問	ロッジのところで、安全に関して菅又先生から何か注意はあったか。	[REDACTED]	ロッジ前はないと思う。
戸田	質問	第2、第3ゲレンデの奥は雪崩があるから注意しろとかなかったか。	[REDACTED]	なかった。
戸田	質問	一本木の所でもなかつたか。	[REDACTED]	ないと思う。
大西	質問	雪崩の危険については、今回の講習会では、何か触れるようなことはあったか。	[REDACTED]	今回、弱層テストの話はあったが、聞いておくださいでいいみたいな感じだった。それで雪崩が分かるというものでもないが、このような方法があるよと聞いただけなので、そこまで重要視して聞いてなかったので、実際に起きてうつと思った。
戸田	質問	今体調はどうか。	[REDACTED]	学校に行くのが気が重い。
西村	質問	今回学校から、出発前に講習会の説明はなかったが、そういう機会はあった方がいいか。	父	高校生の部活動の範囲なので、その様な危険な状況になっていたと深く考えていなかった。講習会なので、当然安全な場所で、初心者の集まりの中で教えるということから、危険な事はしないだろうと思っている。講習会は、行程表が家庭に通知されるのであればいいのかなと思う。

【検証委員会聞き取り結果】

聴取日

記録係

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	講習会に参加するときどんな思いを持って参加したか、あるいはどんなことを勉強しようと思って参加したか。	[REDACTED]	講習会では、冬山ほどではないが雪があるとは聞いていたのであまり深くはない雪での訓練を学ぶのだと思った。
大西	質問	雪の中にいくのはどう思つたか。	[REDACTED]	12月に冬山に行っており、その時よりは雪が少なかったのでそこまで恐怖心はなかった。
大西	質問	どちらかというと楽しみだったか。	[REDACTED]	いつもどおりだった。
大西	質問	家族には今回の講習会に参加するに当たってどんな風に伝えていったのか。	[REDACTED]	登山の時は紙が配られるので、その紙を見せながら親とこういう風に行くということを伝えた。
大西	質問	その紙はどんな紙か覚えているか。	[REDACTED]	ルートや持ち物、帰りの時間、そういうだいたいの日程と持ち物が書いてある紙である。
大西	質問	登山のしおりみたいなものではないのか。だいたいの行動が書いてあるものか。	[REDACTED]	しおり…? まぁそうですね。
大西	質問	講習会全体のしおりはあるのか。	[REDACTED]	3日間通しての講習会をまとめた資料はある。
大西	質問	それも(親に)見せたのか。	[REDACTED]	それは見せていない。
大西	質問	それは見せてはいないが、大田原高校全体の学校の山岳部で配られたものをお見せしていったんだね?	[REDACTED]	見せてはいなかったが、そういうものは配られた。
大西	質問	家族の方は行くことに関して何といっていたか。	[REDACTED]	いつも通り、気をつけて行ってらっしゃい、といつて言ってた。
大西	質問	それはいつもと一緒なんだね?	[REDACTED]	そうだ。
大西	質問	3日間講習会があって、1日目に机上講習があって、2日目に実際に雪の中でいろいろな訓練があったと思うが、主にどんな訓練をしたのか覚えているか。	[REDACTED]	滑落防止訓練と、雪洞を掘る、カラビナ・細引きの使い方、雪の上の休憩の仕方などです。
大西	質問	歩き方は?	[REDACTED]	歩き方もやりました。
大西	質問	歩き方の中ではどんな言葉使いで教えてもらえたか。	[REDACTED]	ラッセルかな。
大西	質問	他にはなかったか。	[REDACTED]	それ以外は特になかった。
大西	質問	例えば斜面が急になって来たときに靴?を蹴り込んで…	[REDACTED]	そういうのはあった。
大西	質問	キックステップなんて言葉は聞かなかつたか。	[REDACTED]	…………。
大西	質問	特にそういう言葉では説明はなかつたか。	[REDACTED]	なかつた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	雪を蹴り込んでいくという説明はあったか。	[REDACTED]	そういうのはあった。
大西	質問	2日目の晩から大雪になつたが、そのときはどんな思いをしていたか。	[REDACTED]	自分たちが日の出前に起きて、外の状態を確認してたのだが、その時には先日よりもプラス30センチくらいは積もってて、雪の降る量も強かったのでちょっと不安はあった。
大西	質問	夜の間にテントの雪を落としたりしたのか。	[REDACTED]	そう。
大西	質問	実際に3日目の講習会が変更になるのはいつ知ったか。	[REDACTED]	時間というか、元々予定の集合時間の30分前とかだったと思う。
大西	質問	元々の予定時間は何時だったか。	[REDACTED]	覚えていない。
大西	質問	その時に茶臼登山はないと言われたのか。	[REDACTED]	その時は待機といわれただけだった。
大西	質問	その時に実際は、どうなんだろうな、茶臼に行くつもりで準備を進めていたか。	[REDACTED]	いや、とりあえず準備だけはしてたが、茶臼までは行かないかなと思っていた。
大西	質問	それはどうしてそこまでは行かないかと思ったのか。	[REDACTED]	待機、ということを伝えられたのと、まだ雪の量が全然降っていたので、行かないだろうと思った。
大西	質問	実際に訓練が変更になると聞いたのは何時頃か。	[REDACTED]	予定よりも1時間くらい遅れてくらいから。
大西	質問	それは訓練がどうのこうではなく、集合ということで連絡があったのか。	[REDACTED]	とりあえず、ラッセル訓練をやります、ということで、時間は忘れたが、何時に集合してくださいと言われた。
大西	質問	その場所はどこか。	[REDACTED]	その場所は、スキー場のセンターハウスのところ。
大西	質問	ラッセル訓練をするので、センターハウスに集合してくださいと連絡があつて、そこに集まつたんだね。そこで全体に対する説明はあつたか。	[REDACTED]	全体に対するというか、各班ごとに分かれて、その班を担当している先生から聞くという形。
大西	質問	班に分かれるというのはいつのタイミングで知ったのか。	[REDACTED](無言)
大西	質問	茶臼に登る時は学校単位だったよね?	[REDACTED]	はい。
大西	質問	大田原高校の場合は学校も班も同じだからそこは微妙なところだと思うけど、班ごとに分かれるというのは何か指示があつたのか。	[REDACTED]	特に指示とかではなく、前日も同じ班行動だったのでその先生のところに各々が集まつていった。
大西	質問	じゃあ、菅又先生のところに大田原高校が集まつていったということか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	で、全体で説明ではなくてね。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	その段階ではラッセル訓練をすると、[REDACTED]君自身も思つていたのか。	[REDACTED]	はい。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	菅又先生のところに集まつたとき、先生はどんな説明をしたか。	[REDACTED]	まず、今日は茶臼じやなく、ラッセル訓練になつたということと、スキー場をちょっとあがって、横の林に入り、行ける所まで行って戻ってきます、という感じ。
大西	質問	時間とかそういう話はあつたか。	[REDACTED]	時間は覚えてないが、何時頃まで戻ってくるというのを言っていた気がする。
大西	質問	何時頃かは覚えてないが、何時頃までにというのはあった。 それから行ける所まで、と言っていたんだね。 で、その時のみんなの様子は。	[REDACTED]	その時はいつもと変わりなく、体調も悪そうな人もいなかった。
大西	質問	そういう訓練に変わったという、[REDACTED]君自身はどうだったか。	[REDACTED]	自分は・・・・・・まあ妥当な判断というか。上には登れなくてちょっとした訓練はできるかな、という感じ。
大西	質問	まあ、上には登れなくてもこのくらいならできる、こんな程度だったらいいかなという感じか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	実際の訓練の様子を伺いたい。	[REDACTED]	横一列になって全員で雪をかき分けてスキー場の一本木といわれるところまで歩いて行こうということになった。全員でその一本木に行ってそこで4～5分休憩を取りながら、「次はそこから見て左斜め前にある林に行きます。」という説明を先生からされた。
大西	質問	それぞれみんな行くという感じか。 [REDACTED]君はどんな感じだっか。	[REDACTED]	それぞれ、自分が、という感じ。 自分はまあ、そうですね。
大西	質問	一列で競争している感じか。	[REDACTED]	結構みんなガツガツ行ってる感じ。 自分も遅れないようにといった感じ。
大西	質問	一本木で4、5分休んだ後、林の中に入ると菅又先生から話があったが、その時の指示は何か。	[REDACTED]	次は縦一列になって、ラッセルをしながら、先頭を時々変ながら行きます、という説明だった。
大西	質問	その順序、オーダーは誰によって決まったか。	[REDACTED]	自然に決まった。
大西	質問	自然にそういうオーダーになったのか。それはどうしてか。	[REDACTED]	そういう並び順はいつも先輩方が前にいて後ろは後輩という形があったので自然とそういう風になつた。
大西	質問	特に先頭を行く人たちはいつも強いのか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	後の方から[REDACTED]君はついて行ったが、歩いて行ってどうだったか。それまでは平らなところだったと思うが歩きやすさ、歩きにくさとかはあったか。	[REDACTED]	特に異常は感じなかった。 雪がかなり、膝くらいまでは積もってたので、若干歩きにくかったが、縦一列になって、みんなの足跡をたどっていく感じだったのでそこまでつらさは感じなかった。
大西	質問	みんなが踏んでくれたところを行くので、膝くらいまではあったけれども、大変だ、という感じでははかった？	[REDACTED]	はい。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	雪山に行くのは何回目なのかな?	[REDACTED]	2回目だ。
大西	質問	12月に行ってこの時で2回目?	[REDACTED]	はい。
大西	質問	じゃあ実際に林の中に入っていたんだけど、それから雪崩が起こるまでのところを話してください。いろんなやりとりも含めて。	[REDACTED]	林に入って、15分くらい経ったところで、[REDACTED]君が足がつってしまったので隊全体が1回止まった、7~8分くらい止まった。[REDACTED]君がもう大丈夫だというので、出発した。また、20分くらい登ったら林を抜けた。
大西	質問	抜けたあたりの所ではやり取りはあったか。	[REDACTED]	林を抜け少し歩いたら、先生が少し止まろうとい言ったので止まった。先生から(まだポツポツと木があったので)正面にあった木のところまでいって引き返そうといわれたが、まだ時間とかに余裕があったので、前の方の先輩方が、その後ろにある岩のあたりまでいこう、というのが伝わってきたのでじゃあ先生もそれでいこうとなった感じ。
大西	質問	そのようなやりとりがあつたのは、急斜面が終わってからか?林から抜けたから?	[REDACTED]	林から抜けたすぐくらい。
大西	質問	林から抜けたところでまだポツポツと木があったからその辺まで行って引き返そうと菅又先生は言ったが、そのところで先輩たちが岩のあたり、って言ったということでいいのか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	その後どうなったか。	[REDACTED]	その後はいつも通り、岩を目指して歩いて行ったところで雪崩が起きた。
大西	質問	そうすると、止まろうと行ったのは一度だけ?	[REDACTED]	自分はそう思う。
大西	質問	林を抜けた後の所か。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	その先の木を目指すのか、岩を目指すのか、ということで少しもめたけど、岩のところまでいこう、ということだったのか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	目指しているときに雪崩に巻き込まれたんだね。どんな感じで巻き込まれたかわかるか。	[REDACTED]	自分から見て、右斜め前に大きく亀裂が入ったのが見えたと思ったら、自分が立っている場所の雪も流れた。
大西	質問	斜めにこういう感じで亀裂がはいった。と思ったら自分のところも流れたという感じか。	[REDACTED]	そう。その面全体がずれるような感じ。
大西	質問	その後は。	[REDACTED]	流されて、その時は何m転がったとはわからないが、その流れが止まって、埋まっていることに気づいた。 息が出来なかつたので焦って動搖していたので、頑張って浅い方に手が出ていたので雪をどかしながら息を持たせるために雪をかき分けて気づいてもらえるようにした。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	亀裂が入ったのは自分から見て何m前とかわかるか。	[REDACTED]	おおよそ、7、8m前方。
大西	質問	それは、はっきりわかる亀裂か。	[REDACTED]	そうだ。
大西	質問	それで埋まって、手をこうやって振って、その後は。	[REDACTED]	何分埋まっていたかわからないが、埋まっていた違う班の先生方が気づいてくれて救出されたという感じ。
大西	質問	で、その後、一生懸命他の人たちの救助にあたるんだよね？ どんな感じだったか。	[REDACTED]	自分はなんともなかつたので、自分のすぐ下で声が聞こえていたのでそこを掘ってという感じ。
田中	質問	亀裂の方向は。自分から見て2時の方向とか、1時の方向とかわかるか。自分の言葉で工夫して言っていただければ。	[REDACTED]	山の高い方を見て自分が正面を向いていたら2時くらいの方向から亀裂が見えた。
大西	質問	2時の方向から横にはいったのか。	[REDACTED]	そう。横に入りました。
田中	質問	長さはどれくらいか。	[REDACTED]	視界ではもうずっと入っていた。
大西	質問	気づいてたら入っていて流れてきたのか。	[REDACTED]	そう。
大西	質問	雪崩だとわかったか。	[REDACTED]	いや、雪崩と思う前に、流れてしまい、埋まってしまったので雪崩だと知るのは後になってから。
大西	質問	雪の感じはどんな感じか。	[REDACTED]	雪は、結構全身が押される圧力がすごかつた、伝えるのが難しいが…。
大西	質問	ぐっと締め付けられている感じか。	[REDACTED]	そう。全体からの圧力という感じ。
田中	質問	最初（基本調査）に担任の手塚先生からいろいろ質問を受けたことがあったと思うが、その時には他の方々と比べて、斜面に行くまでのルートについて話がほとんどなかったけれども当時はしゃべる時間がなかったからか。それともなんか理由があるのか。	[REDACTED]	その手塚先生から説明されたときには、ルートの詳しい説明は聞かれなかったので。
田中	質問	最終確認だが、これは見たことはあるか。（報告書）	[REDACTED]	初めてだ。
田中	質問	これは報告書なんだが、ここに説明があるのだが。（報告書を見ながら説明） 岩近くに行って帰るとのことだったが、この岩か。（天狗岩）それとももっと上の岩か。	[REDACTED]	ここまで高くはなくともうちょっと近場にあった岩。
田中	質問	6番の岩の近くに行って… とあるがここら辺の岩か。	[REDACTED]	その辺の岩だったと思う。
田中	質問	樹林帯に入ってからその斜面に行くまでの間に、弱層テストというものはやったか。	[REDACTED]	それはやってなかった。
田中	質問	隊列のどこら辺にいたのか。	[REDACTED]	自分は真ん中寄りの後ろの方。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中	質問	そういうのをやっていればわかる位置にはいたか?	[REDACTED]	はい。
田中	質問	それは気づかなかった。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	菅又先生が木まで行こうと行って、もう少し元気だから岩まで行こうという話になつたが、菅又先生が言った木はどれだかわかるか。	[REDACTED]	ちょっと明確にはわからない。
田中	質問	岩の写真があるがそれもわからないか。	[REDACTED]	ちょっとわからない。
田中	質問	実際にこの斜面を登って行って、どこら辺まで行ったときに雪崩がおきたかわかるか。	[REDACTED]	ピッケルが立っているあたりに自分がいた感じだ。
田中	質問	[REDACTED]君の方から見て7、8m前ということは本当に先頭の人が歩いているすぐ前か。	[REDACTED]	この写真だと説明しにくいのだが、自分が歩いて行ったルートは若干横向きのルートだったので、そこら辺からここ辺に崩れたという感じ。
田中	質問	右手の方から左手の方にか。	[REDACTED]	ここら辺だ。
田中	質問	岩というのはこっちの岩?	[REDACTED]	どの岩かはわからないが、亀裂が見えたのはそのあたりです。
田中	質問	亀裂が見えた箇所はどこか。	[REDACTED]	ここら辺に、走っていたのかな。(写真上に記載)
田中	質問	岩のあたりまでというのは。	[REDACTED]	よくわからない。
田中	質問	先頭と間の距離は。	[REDACTED]	結構つめつめで歩いていた。1mくらい。
田中	質問	足元から亀裂が入って足から倒れて流されたのか、それとも立ったまま流されたのか。	[REDACTED]	どっちかというと立ったまま動き始めた感じ。
田中	質問	それから全身に圧力がかかった。	[REDACTED]	最初は立ったまま流れたと感じた。
西村		すごい大切な貴重な情報です。	父	警察の事情収にも立ち会つたが、今のところ警察に証言しているのはまず、岩のところ、どちらの岩なんだろう?という質問があつたが、本人としては、やはり隊列についていくということだったので、岩というのしかなく、どちらのとうのはあまりなかつた。崩れた、という感覚よりも足元がズルッとずれる感覚だったという証言をした。
西村	質問	ひとつだけ、あと、雪崩が終わった後、みんなスコップを持っていた?	[REDACTED]	先生方が持ってきてくれたものを使った。ずっと掘り続けると疲れて効率が落ちてしまうので、交代しながら行った。
西村	質問	みんなが持っていたわけではなかつた?	[REDACTED]	そうですね、でも救助活動の中盤くらいにはほぼ全員持っていた。
西村	質問	ザックにスコップが入つたというわけでは?	[REDACTED]	ないです。
北村	質問	班の人たちの中でスコップを持っている人はいたのか?	[REDACTED]	班の中では.....。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
北村	質問	テントで泊まるときの共同装備でスコップがあったと書いてあったのだが、そこに行くときに班で1個もつていくとか2個もっていくとかはあったか。	[REDACTED]	ちょっともっていったかはわからない。
北村	質問	それと結局誰が(岩まで)行こうと行ったかはおいといて、みんながどこまで行こうというのが、わかつていたのか。ここまでいこうというのは、どこの岩かというのはわかつっていたのか。先頭の人たちがわかつていたのか、あるいは、先生が見えていてわかつっていたのか。	[REDACTED]	先輩たちがあの岩まで行こうと、指した岩は、先生もわかつっていたと思う。
北村	質問	その岩は、ここでいう天狗岩か。それはわからないか。	[REDACTED]	自分の感覚的にはここまで高い岩ではなかった。
北村	質問	先生も生徒もそこでは共通でわかつっていたのかな。	[REDACTED]	そうですね、その目指す岩は全員そこだ、という認識はあった。
大西	質問	視界はどのくらいあったか、ずっと向こうまで見えていたか。	[REDACTED]	視界はそうですね、頂上は見えなかつたが、決して悪いという感じではなかつた。雪は降つてはいますけど、そこまでではない。
戸田	質問	2つだけ聞きます。センターに人が集まつたとき、一本木で集結したときに菅又先生は、例えば、×××には行くなとか安全に関する注意をしたか、[REDACTED]君は雪崩が来そうだな、とどれくらい思つていたのかどうか。	[REDACTED]	最初の質問なんんですけど、安全に関しての注意は、ここはダメとか、行くなとか禁止みたいなことはなかつた。 2つ目の質問について、雪崩への危機感というか、警戒は全くといつていいくほどなかつた。
戸田	質問	そのことについても、雪崩の危険性についても講習会では扱いはなかつたか。	[REDACTED]	特になかったです。
		長い時間ありがとうございました。	父	以前猪瀬先生と教頭先生が家に見えたときに検証に役立つかわからぬですが、検索の位置関係を渡した。先生方には渡つてゐるか?先生と教頭には渡したのだが、あとは遺族にも渡してある。 (資料提出)

【検証委員会聞き取り結果】

聴取日 : 平成29年7月29日

記録係 : 吉成

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	春山講習会について、どんな思いを持ってどんなことを勉強しようと思って参加したか。	[REDACTED]	12月にはあまり技術的な指導がなかったで、そのとき学べなかつたことをしっかり勉強したいと思った。
大西	質問	12月の雪の上で、今回も雪の上に行くということか。	[REDACTED]	先輩方から聞いた話だと前の年は雪がなかつた。春山講習会は年によつては雪があるときとないときがあるようだ。ちょっと装備とかも冬のものにするか悩んだ。
大西	質問	装備とか悩んだっていうが、先生からの指示はなかつたか。	[REDACTED]	事前に集まつてミーティングがり、装備の説明はあつた。いつも違つて共同装備、カラビナ、ハーネスとかの話はあつた。いつも装備の表があるのだが今回はそれがなかつた。いつも持つて行くものを冬山の時を思い出しながら装備を考えた。
大西	質問	装備表がないといふのは個人装備のことか。共同装備か。	[REDACTED]	個人装備。共同装備は口頭で説明を受けていた。あと普段と変わらなかつた。
大西	質問	誰がテントをもつていくとか、誰がコッペル持って行くとかといふのは。	[REDACTED]	隊の中で話をした。
大西	質問	じゃそれは計画に、いわゆる登山の時の計画書にはなかつた。	[REDACTED]	はつきり覚えていないが、なかつたと思う。
大西	質問	それでもできちゃうんだね。	[REDACTED]	普段はちゃんと出してもらつてる。
大西	質問	行く前に家族には講習会に行くことをどんな風に説明していたか。	[REDACTED]	自分は適當で親にきちんと連絡していない。なめてかかっていた。前日の夜プリントを写真でとつてそれを親に送つた。
大西	質問	メールかなんかで友達かなんかに送つてもらったのを見せたのか。	[REDACTED]	はいそうです。
大西	質問	それをお父さんに見せたんだね。	[REDACTED]	普段だと登山の計画書を1ページ表裏のものを持ってくるのだが、前の日になつても何もなかつたので何もないなら行かせないと行つたら、LINEの写真で、1枚学校長名ででている書類を見せてもらった。それでどこに行くのかがわかつた。
北村	質問	ちょっとなめていたのは、講習会だからということ? 登山だから?	[REDACTED]	講習会という名前で油断していた。
大西	質問	それで実際に行くわけだが1日目は机上講習があつて2日目に実際に雪山での訓練があつたがどのような訓練内容だったか。	[REDACTED]	雪上歩行、滑落停止、ピッケルの使い方とか。耐風姿勢とかそのあたり。
大西	質問	ロープは。	[REDACTED]	ロープも使つた。張るのはやつてない。張つてもらつて通過をしていく。
大西	質問	その中で雪上歩行で具体的に言葉で何かあつたか。例えば斜面を登るときはどんな風に登れとか。	[REDACTED]	体重のかけ方だつたり。
大西	質問	キックステップとかは。	[REDACTED]	はい、名称ですか? 歩き方の? キックステップだつた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
北村?	質問	ラッセルは。	[REDACTED]	ラッセルは言われていない。
大西	質問	ラッセルを行うような状況ではなかったか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	夜になって雪が降り出しだが、雪が降って朝になって雪を実際に見てどう思ったか。	[REDACTED]	行く前まで自分の目でしっかりと雪を確認していなかった。見たのが出発直前の7:30くらい。
大西	質問	集合が7:30? 集合まで見なかつたんだね。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	じゃそれまでずっとテントの中にいたんだ。	[REDACTED]	私はそうです。テントの縁からは見たが実際にでてしっかりと見ていない。
北村?	質問	なかなか雪の量は多かったか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	じゃあ雪の量はそこで知ったのだけど、夜雪の量でテントが押しつぶされそうとかあつたか。	[REDACTED]	朝起きたときに、完全にテントの上に雪が乗っていた。形が変形まではいってないが、外から払ってもらわないでられないくらいだった。
大西	質問	中からも払つたりしたか。	[REDACTED]	中から叩いたりして払つた。
大西	質問	相当重い雪だったか。	[REDACTED]	あまり雪山の経験がないのでわからないが、外から崩してもらい、後半は自分たちで落とせるようになった。
大西	質問	7:30のときに雪をみるのだけど、茶臼登山の中止を知ったのはどんな風に知ったか。	[REDACTED]	7:00頃に先生からとりあえず計画変更になるから待機といわれた。
大西	質問	誰からの指示。	[REDACTED]	どの先生かはわからないが、先生がテントの前まできて言つていた。
大西	質問	テントの中で聞いたんだね。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	それで、7:00に聞いて、7:30に集合というのは。	[REDACTED]	計画については知らないが、とりあえずやるからロッジの前に7:30に集合と言われた。
大西	質問	7:30に集合してその後の全体の指示は。	[REDACTED]	全体ではなく、各班に分かれて指示を受けるという風になった。
大西	質問	それは誰から。	[REDACTED]	記憶が曖昧だが、猪瀬先生だと思う。
大西	質問	その時に各班に分かれてと聞いたんですね。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	みなさんの中ではもう昨日の班だ、とわかつたのか。	[REDACTED]	その指示を受ける前に学校が集まっている段階で伝言や先生が言っていたのだが、今日の行動は予定と違って各学校ではなく、昨日と同じ班で行動するという指示があつた。
大西	質問	全体で集まる前に噂というか、こうなりそうだよというのが、なんとなくささやかれていたのか。	[REDACTED]	そうだ。ロッジの前に集まっていたので先生発信の情報だと思う。整列する前に。
大西	質問	大田原高校1班は菅又先生のところに集まつた。	[REDACTED]	はい。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	そしたら菅又先生からどんな指示があつたか。	[REDACTED]	一本木の方を目指してラッセルを行うということ。自分は一本木が見えてなかった。
大西	質問	それは視界が悪くて見えてなかつたのか。	[REDACTED]	視界が悪いのか目が悪いのかわからないが、眼鏡をしていなかつた。
大西	質問	ガスは？	[REDACTED]	ガスはあつたが、ホワイトアウトにはなつていなかつた。
大西	質問	ゴーグルは？	[REDACTED]	頭にかけていた。
大西	質問	一本木まではどういう風に行けという指示だつたか。	[REDACTED]	横一列。
大西	質問	その時のみなさんの様子は。受け止め方とか。	[REDACTED]	効率的じやないといふか、普通な訓練ならではの驚きがあつた。
大西	質問	驚いた、といふのは。	[REDACTED]	普通は縦一列なので。横一列だつたから訓練だな、と思った。普通ではあり得ない、と思った。体力の消費も多いので疲れてしまうので、えーと思った。
大西	質問	その時の様子は。先輩と後1年生何人かと横になつて、上を目指していく感覚的にはみんなどんな感じで進んでいたか。	[REDACTED]	横一列で進んでいたが、自分のスピードで歩いてた。1回自分の周辺の人が進行方向を間違えて先生が誰かにそつちではないぞ、と軌道を戻された。みんな見えてなかつたのかな、と思った。
大西	質問	じゃあやっぱりそれが見えてなかつた。	[REDACTED]	なかつたのかなと思う。でも後半は見えていた。スタート時には見えていなかつた。
大西	質問	途中から見えてきた。	[REDACTED]	はい。
北村?	質問	みんな元気いっぱいなのか、嫌々なのか、しようがないという感じか。	[REDACTED]	人によりと思う。
大西	質問	[REDACTED]くんは？	[REDACTED]	自分はかなり火がついていた気がする。
大西	質問	盛り上がり競争するという感じか。	[REDACTED]	順番がどうのというわけではないが、出来るだけ早く着いて休みたいという感じ。
大西	質問	先輩たちもそんな感じか。	[REDACTED]	先輩たちはというより、ひとりひとりで違う。
大西	質問	一本木まで行ってそこでの指示は。	[REDACTED]	全員集合してから、菅又先生が木の後ろの方を指して、この斜面を登っていく、その時、縦一列になれという指示だつたかはわからないが、普通に考えて一列かなと思った。
大西	質問	スタートする前にそもそも菅又先生から今日の訓練はどういう訓練でどの範囲でやるという説明はあつたか。	[REDACTED]	全体を把握できるような指示は自分の記憶にはない。
大西	質問	訓練場所どこまでというような明確な話はあつたか。	[REDACTED]	どこまでいくかも把握していない。最初は一本木だったが、範囲の指定はなかつた。
大西	質問	訓練内容については。	[REDACTED]	目的としては把握していない。
大西	質問	言われてないのか、言われたけどわからなかつたのか。あるいは聞いてないのか。	[REDACTED]	聞いてたつもりが意識があまり…。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	じゃそこでは、一本木までは横一列で歩いてください、ということだね。	[REDACTED]	そう指示があった。
大西	質問	ラッセルという言葉は。	[REDACTED]	その日のうちに帰ってニュースで見てしまっていたので記憶がぐちゃぐちゃだ。
大西	質問	一本木まで行って縦列で行ったが隊列は、どんな形で決まっていたのか。	[REDACTED]	おそらくちゃんと先生からの指示があつて2年生前1年生後ろだったと思う。
大西	質問	2年生前、1年生後ろという指示ではない。	[REDACTED]	はっきりとは覚えていない。
大西	質問	2年生の中、1年生の中のオーダーは。	[REDACTED]	自由。
大西	質問	毛塚先生が前で菅又先生が後ろか。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	で、樹林帯に入るわけだけれど、そこからの、まず樹林帯を抜けるところまでの話をしてください。	[REDACTED]	
北村	質問	毛塚先生の位置の確認を願う。	[REDACTED]	毛塚先生のことは記憶としては一番把握していない
大西	質問	自分より後ろだからわからない。	[REDACTED]	曖昧だからわからない。
大西	質問	自分のところまではわかるけどね。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	まず、(基本調査で)担任の手塚先生が確認した話だと、樹林帯抜けるあたりで木がまばらになってきたあたりで[REDACTED]君が足をつって菅又先生が前に来て処置をした。そのあたりのことは。	[REDACTED]	[REDACTED]君が足をつったので先生が前に来た。休憩で、隊が止まったことがひとつと、単純に休憩として隊が止まったことがひとつ。
大西	質問	休憩は2回と言うことか。	[REDACTED]	はい。元々予定していた休憩時には、菅又先生から雪庇の説明をうけた。
大西	質問	雪庇の説明を受けたと言うことは雪庇が起こりそうな地形だったのか。	[REDACTED]	ちょっと奥の方に見えていたという感じ。樹林帯の中ら見えていた。
大西	質問	この写真の中で言うどの辺かな？	[REDACTED]	(資料見ながら)
北村	質問	[REDACTED]君が足をつった時とそれ以外にも休憩しているんだけど、どっちが先かは覚えてないんだよね。	[REDACTED]	はい。
北村	質問	[REDACTED]君が足がつったときは大きな岩があったところで休憩してる。	[REDACTED]	はい。
大西	質問	雪庇の説明があったというのは本来の休憩という風に今言ったが、歩き出してから一定の時間があったという事か。いずれにしても樹林の中か。	[REDACTED]	樹林の中。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	そこでは他には何か言葉のやりとりはあったか。		休憩するときに菅又先生から斜面を平らにしてそこで休憩しろと言われた。そこでさっきの雪庇の話があってそれが終わってすぐに出発して樹林帯を抜けていった。 君が足をつったのと順番がぐちゃぐちゃだが。
大西	質問	樹林を抜けるか抜けないかで休憩したときに隊の中でどこまで行くかの協議があったとこの前の聞き取りの中であつた。その辺のことを教えてくれますか。		それが最後に止まった休憩、自分は3回目の休憩だと思っている。3回目の休憩の時に、先生から止められ、という指示があった。
大西	質問	先生から指示があった?		はい。それで隊が1回止まって、隊の前後で伝言ゲームみたいな形で連絡をとった。
大西	質問	後ろから指示があつてそれが前に伝わつて、それで隊が止まったのか。		はい。それで先生のほうから、岩(だったかわからないが)目の前に目標物が見えてきて、(先生は岩と言っていたが)先生は岩までいったら引き返そうと言っていた。それが伝言で前に回していった。自分は真ん中のあたりにいたんですが、それを回す役目だった。その言葉について、先輩方がもう少し上に行かないか、という話になってその後菅又先生がちょっと強めに岩まで、といってそれで先輩方も納得した。
大西	質問	それで実際に歩き出すわけだけれど、歩き出して雪崩に巻き込まれる状況を教えてください。		本当に歩き出してすぐで…
大西	質問	歩き出してすぐにどんな風に雪崩が発生したか覚えてるか。		私が自分の目で見たのは1時くらいの方向で、何かが動いているのが見えて、視力弱いんですが、何か動いていて、あ、雪だ!と思って、雪崩というか、完全に雪が崩れたな、と思って完全にこっちに来るな、と思った。ピッケルを構えて待ったが、すぐ2、3秒の話で、それですぐ流された。
大西	質問	雪崩が来たときにピッケルをさした?その時は例えば雪崩が起こったらどんな風にした方がいいか知っていたか。		部として教わってはいない。ピッケルをさすのは間違だと思うが、反射的にやってしまった。
北村	質問	間違いだったかもしれないけど刺した後、どんな風になった		体勢をかがめてしまったのでそれで雪をかぶるような量が増えてしまってそのままとんと転がされた。
北村	質問	その時に自分がどうなった? 転んじゃったのか、転がったとか、流されたとか?		私は雪が来てすぐに流された。
北村	質問	進行1時の方角からと書いてあるが、それは例えば自分のところから見てどれくらいの距離感だったか。1m、10m、100mとかの距離感とか。		100mくらい、あまり近くはなかった。
大西	質問	近くはなかった?結構遠い?		
北村	質問	あの柱の当たりか。		あの柱よりは明らかに遠い。感覚としてはあの倍くらい。もっと遠い。
田中	質問	直線距離、ここで12、3mあるから、もつと遠い?		もっとかなり遠い。
大西	質問	もっと遠い? 2倍くらい? これより遠い?		あれよりは遠い。
田中	質問	12mはあったということか。		はい。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中	質問	帰ってきてすぐに、1番最初に流されて他の人たちはそのままの体勢で自分一人だけが転げて流されたと思ったと聞いたが。	[REDACTED]	自分が弱い雪に流されたと思った。最初転がっているときは自分だけだと思っていて、弱い雪に流されたと思っていた。周りの人は立っていると思っていた。
大西	質問	見えてたか。	[REDACTED]	見えていた。全員かどうかはわからないが、とりあえず、隊の少なくとも大方の人間が立っている状態に見えていた。
北村	質問	流された段階で1番最初多分転倒したという認識をしてましたね。	[REDACTED]	
西村	質問	それはさっき言っていた体勢をかがめたという形になってしまったからか。	[REDACTED]	だからだと思う。
大西	質問	わからないかもしれないが他の人は耐風姿勢をとったかどうかはわからないか。	[REDACTED]	みんなは直立していた。
大西	質問	みんなは立ってたけど、自分は低くして。	[REDACTED]	転がって1回転した景色がまだみんな立っていた。
大西	質問	で、埋まっちゃった？その後は？	[REDACTED]	その後は、自分の感覚の話だが、埋まった直後にもう1回雪をかぶっている感覚。
大西	質問	埋まった後もう1回。	[REDACTED]	はい、たぶん。
大西	質問	でどんな風に。	[REDACTED]	最初自分で脱出できるか試して手足を動かしたが、密閉されて暗くて身体が埋まりはじめたため、それを止めると必死だった。なんとか止ましたが、それからはアクションを起こさずにいたが、1時間以上経って酸欠で頭がぼーとしてたので、あまり感覚ははっきりしていない。足音みたいな音は聞こえた。それで自分で声を出したかはわからないが掘り起こしてもらった。その時は酸欠で目が見えなくなっていて音と感触だけ合った状況。 光は見ていない。
北村	質問	雪に埋まったとき暗かったといっていたがどんな感じか。	[REDACTED]	
北村	質問	音は聞こえたか。	[REDACTED]	音も聞こえないが、最後足音は聞こえた。
大西	質問	雪崩に巻き込まれてしまったんだけど、雪崩を含むそういう雪の山の危険性にはどれくらい知っていたか。	[REDACTED]	勉強は足りてなかった。ネットとかで雪山に関して調べてはいた。
大西	質問	講習会の際に雪崩について触れられたことはあったか。	[REDACTED]	2日目話するの忘れていたが、弱層テストというものをやった。実技講習で教えてもらった。その程度。その時どうしても谷の上に登らないといけないときとかに使えといわれた。その時にこの他にもう一つあるんだけど、今は教えられない、みたいなことは言われた。
田中	質問	弱層テストは実際に先生がみんなの前でやったのか。	[REDACTED]	はい。目の前で。
大西	質問	どんな弱層テストだった。	[REDACTED]	ピッケルの刃の方で雪を四角く囲って、その後手を持って動くかどうか。
大西	質問	手で持つて動くかどうか。	[REDACTED]	はいそうです。
田中	質問	(写真を見て)だいたい写真の番号は違和感ないか。	[REDACTED]	(写真を見て確認) はい、ないです。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
大西	質問	樹林帯を上がっていくときに弱層テストはしたか。菅又先生は。	[REDACTED]	先生は自分の後ろだったので見ていない。
田中	質問	前から7番目くらい。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	そうすると後ろの方でやっていた可能性はある。	[REDACTED]	わからないです。
田中	質問	当日現場でやってたかどうかという質問だがそれは見ていない。	[REDACTED]	見ていない。
田中	質問	樹林帯を進むときは尾根の部分(高い部分)か沢のところをラッセルしていたかわかるか?	[REDACTED]。
田中	質問	雪がかなりあるところをラッセルしていく記憶はあるか。	[REDACTED]。
田中	質問	7番目だから前の人後について行ったイメージだと思うがその時に尾根筋をいったのか沢筋だったかの記憶は。	[REDACTED]	沢筋だったような…。周りの方が高かったような気がする。
田中	質問	[REDACTED]君が足をつったのだけど、菅又先生がどういう処置をしたかみたか。	[REDACTED]	見てないです。
田中	質問	前方の方だったから見てない。	[REDACTED]	姿をみたというか、先生が[REDACTED]君の方に近づいてきているのは見た。
田中	質問	そこまでは見た。	[REDACTED]	はい。
田中	質問	隊の中でどこまで行くかの協議があったと聞いたが、菅又先生は目で見える天狗岩の手前の岩(推測)その目標物まで行くという判断をした?と書いてあるのだが。	[REDACTED]	目視出来るぐらいのどこまで。
田中	質問	そういう風に判断したと書いてあるが、それは菅又先生がそこまで行くよ、といった判断でよいか。	[REDACTED]	あそこまでいって引き返そうと言った。
			父	[REDACTED]君が足をつったかどうかは、[REDACTED]君がよく足をつるからまた今回も足をつたのではないかと思った。[REDACTED]君が止まったのでそれに先生が言ったということ。いつも足をつるからまた足をつたのではないかと。
田中	質問	じゃあ足がつったかどうかはわからないが、推測でいえば、彼のことは今回も足をつったんではないかと?	[REDACTED]	はっきりとはわからない。彼が止まったので、足をつるくらいかなと思った。
			父	目標とする岩の岩のその先に雪の斜面がみえていて、それを最初は茶臼岳かな、と個人的には考えていたようだが、それが、警察の写真をみせてもらうと、ここから樹林帯抜けたところから方向的に茶臼は見えないので後ろに目標としていた岩の先に斜面が見えていたのは茶臼ではなく、手前の今登ろうとしている斜面なのかな、一番頂上の天狗岩ではないのか。目標となるその障害物というのが、雪以外には1個しか見えてなかつた、みんな目標に対する認識の違いはなかったのではないかと思う。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中	質問	説明出来ますか。		あまり視界がそこまで良くなかったのでこの写真のように視界は良くなかったので。
田中	質問	初めて見る写真か。		何度かみてます。自分たちが登っている斜面にひとつ斜度が強い斜面があったので。
北村	質問	先ほどの話にすごく重要な話があって、岩の先にまだ雪の斜面が見えた、という話なんだけどそういう認識の岩？斜面の途中にある岩なんですね？		はい。
北村		山ではよくあることで一番上はみえなくてその手前で一端ゆるい？ところがあるとその先はみえませんので。だから天狗岩が目標にはなってないですね。斜面の途中ですね。		はい、よく見るとまだ、急な斜面が見えていた。
			父	警察からもどる岩かというのは、何回も何回も聞かれていると思うんですが、その先にも斜面が見えていうそこしかもう答えられない。
西村	質問	歩いていて樹林帯の中を歩いているときの感じと抜けて尾根に言ったときの感じで何か違ったか？深くなつたな、とか柔らかくなつたとか堅くなつたとか…。		既に踏み固められたところを歩いていたので雪質とかあまりそういう感じはなかった。
北村	質問	踏み固められた、という風に感じたんだね？		はい、崩れたりはしますけど、しっかりと、前に6人通っているのでしっかりと踏み固められていた。
西村	質問	高さくらいは膝くらい？		はい膝くらいです。踏み固めてもらったところに足をのせて、次の段までの斜面はそれは多分膝が超えないくらい。
大西	質問	樹林帯と上とではどれくらいの違い。		はっきり区別出来ないが場所によりけり。
西村	質問	多分一番最初に流されたと感じたといっていたがどんな風に流された？崩れて雪の塊が大きなブロック見たいのがごろごろとか、粉々になった雪が流れてきたとか。		後者の粒状に近いような雪だった。
戸田	質問	足元は？例えば亀裂が入ったとか？足元崩れた。		自分の意見ではない。前から雪が來たので保護したという感じ。
戸田	質問	流れるというのは怖いなど知ってたか。認識していた？		さすがに知らないことはない、知ってた。
戸田	質問	今回雪崩が起きそうだなとか思ったか。		流れるなと思って登ってはいない。
戸田	質問	雪崩が起こったら怖いなという気持ちは？		この講習会の中の意識では頭の片隅にはあったかもしれないが、ここで起きるかもしれないという認識はなかった。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
北村	質問	この班として、先生が一本木に行こうというその前に、例えば地形図みたいので今日はここまでいくよ、こういうことをするよという話はなかったか。	[REDACTED]	それは確實になかった。
北村	質問	登って行って、先輩たちとでも先輩たち同士、先生たちとでもいいのだけど、地形図で今日はこの高さまで、この位置まで行こうとか、現在位置を今どこにいる、ここだ、ということをはなしてたとかはあるか。	[REDACTED]	自分はそれは見ていない。上に行ってから岩に行くことを判断していたのでそれはないと思う。
北村	質問	みんなコンパスを持って歩いていたか。	[REDACTED]	装備の中には入ってるが手元には持っていない。
北村	質問	手元には誰も持っていない？	[REDACTED]	誰もかはわからないが、私はもっていない。
北村	質問	先生は？地図もって、コンパスもってとうのは？	[REDACTED]	わからない。みていない。
西村	質問	お父さんにお伺いしたいのですが、さつき出かける前の日に携帯電話でみたと話していたが、お父さんの立場としてもつと詳しい情報を事前に学校から講習会に関する情報があつたら良かったか、それとも別に必要なかったか。	父	その前の12月の白根の時に同意書を求められたが父親としては本人が行きたいかどうか、その冬山に行くにあたってその先生が冬山を何回か経験しているとか、講習会、その冬山登山も何回かやっていることとか、この3つを判断基準にしてその3点が確認出来たので行ってこいと言った。ある意味先生任せというわけではないが、山の危険性について把握出来ているかどうかを判断基準にした。
西村	質問	とりあえずは判断は可能だったか。	父	判断は可能だったというか、そこしかなかった。昔、指が凍傷になりかけた先輩がいたと聞いて、冬山登山は予見出来ない危険性があるからきちんと先生の言うことを聞いて、だったらいいということで許可を出した。
北村	質問	今の話は白根山登山か、それとも今回か。	父	今回の講習は前日の夜中の23時頃、私が寝た後に、LINEで紙の写真を送ってきてるので次の日の朝、私よりも早く出て行くのに何かあった時に動けないし連絡先も何もわからないからそれを出さないといかせないと言ったら慌てて送ってきた。今回の講習会に関しては親の同意書も何もとられてないと思う。ただうちの子はお恥ずかしながら保護者へのプリントもほとんど出さないような子なので本当であれば何かしら保護者向けの書類があつたのかもしれないがちょっと私は見ていない状況だったのでどこに行くかもわからず、いざ何かあったとき連絡もとれないような状況だったので。
西村	質問	その説明が事前にしてほしかった？白根山登山のことは事前に知っていたんですね？今回ることは？	父	講習会とわかったのはその写真をみてで、登山という説明はしていなかった。前の週くらいに私の祖母が入院したので今週末行きたいという話をしたら、前の月曜くらいに(5日か6日前)講習会があるという話をされた。じゃあ今週末いけないね、という話をしていた。それで、どこにいくの？といったら那須だと言う話までは聞いていた。普通は2、3日前までにプリント1枚くらい持ってくるんですが、今回なかつたので前日の夜にださないと行かせないとということになった。紙だけ見ても判断はなかなか難しいと思う。
西村	質問	保護者の立場として、学校行事等で、これは保護者に対する説明が不足していると感じた経験は？	父	実際トラブルはなかつた、自分は感じなかつた。

【検証委員会聞き取り結果】

聴取日:平成29年7月29日(土) 15:40~16:30

記録係:指導主事 吉川 知宏

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	第一次報告書について、どのように受け止められたか。事実関係で異なる部分はあるか。	猪瀬 修一	報告書はざっと読んだ。正直自分で受け止められない所もあり、読んだことを自分で判断するのは難しい。自分は問われたことに対して事実を伝え、検証委員会や警察の方に判断してもらうしかない。私が言ってないことは書かれていねと思う。
田中委員	質問	運営上、一番大切だと考えられていた業務は何か。	猪瀬 修一	安全に、無事にこの講習会が終わること。
田中委員	質問	時系列で確認させていただきたい。講習会の一日目(25日)の夕方から27日の朝にかけて天気が崩れることを確認し合ったとあるが、誰と確認をしたか。	猪瀬 修一	25日の講習会に来ていた講師全員と確認した。菅又先生、渡辺先生も入っている。
田中委員	質問	27日朝6時の時点では、天気をどのように分析していたか。	猪瀬 修一	雪がかなり降り、天気は良くならないと感じた。予定通りの計画は多分できないだろうという認識。
田中委員	質問	気象情報についてはどの程度の情報を得ていたか。	猪瀬 修一	ネットで確認して、雪がかなり降る可能性があると思った。
田中委員	質問	計画変更を3人で話し合った際に、スキー場周辺での行動に変更なったが、スキー場周辺というのは先生ご自身はどのように理解していたか。	猪瀬 修一	色々なところでこの質問を聞かれるが、上に行って現場の状況を見た訳ではない。「今まで行くのは無理だろう。雪が積もり天気も良くはならない状況の中で、短い時間の中でスキー場付近での歩行訓練ならできるのでは」と相談されて、なら大丈夫かなという認識。どこの範囲までという認識は持たなかった。
田中委員	質問	その際に、スキー場周辺とはどの辺りという話は出たか。	猪瀬 修一	話題としてはしていない。
田中委員	質問	当日、訓練変更をしたが、どのような目的にしようと考えていたか。	猪瀬 修一	2日目はロープを使った訓練だが、最終日は歩行訓練を行った。
田中委員	質問	菅又教諭はどういう訓練をすると言っていたか。	猪瀬 修一	ラッセルという言葉か歩行訓練かは分からぬが、歩く訓練程度なら可能と言っていた。
田中委員	質問	菅又教諭からラッセル訓練という言葉はあったか。	猪瀬 修一	あまりよくは覚えていないが、そういう言葉を使っていた気がする。その言葉が一人歩きをしてしまっているので、言ったかどうかは正直自信がない。
田中委員	質問	スキー場のゲレンデでの歩行訓練というのはどのようなものを考えていたか。	猪瀬 修一	新雪の誰も歩いていない所を歩くイメージ。
田中委員	質問	猪瀬教諭の持つイメージと菅又教諭・渡辺教諭の持つイメージは他の引率者と共有されていたか。	猪瀬 修一	菅又教諭の説明でそういう認識だったと思う。今回は上に行くのではなく、この周辺で行うと思っていた。生徒たちにも昨日歩いたことを思い出しながら歩こうという話をしていたと思う。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	樹林帯を登って行ったが、猪瀬教諭と菅又教諭とで話し合ったコンセンサスとは違ったものか。樹林帯を上がったのはゲレンデ周辺という認識が違うということか。	猪瀬 修一	どういうコースをどこまでという認識を持っていたなかった。いつも講習会の時に講師の先生にコースをお任せしていたので、我々3人の中では範囲については話に出なかった。
田中委員	質問	訓練の目的や行動範囲は3人の中で詰められていた、という訳ではないということでおろしいか。	猪瀬 修一	正直、朝の段階で議論をして詰めていた訳ではなかった。
田中委員	質問	菅又教諭や渡辺教諭が自分たちでコースを決めて登って行ったが、節目の所で責任者である猪瀬教諭に連絡を入れなかったが、猪瀬教諭自身に範囲の認識がなかったので連絡を取らなかったということでおろしいか。	猪瀬 修一	安全な形で行われていると疑わなかったので、交信というのは考えていなかった。1時間ぐらいで帰ってきて、私は本部に行って全部片付けてそれを出迎えると思っていた。
田中委員	質問	5班引率の小林教諭から5班の女子隊は何をすればいいかという質問を受けた際に、ゲレンデで歩くとアドバイスしているが。	猪瀬 修一	木の近くは危険だから近寄らないことなどを答えた。
田中委員	質問	女子隊はゲレンデでいい、というのは、女子隊以外は樹林帯に行くことを認識していたと読めるが。	猪瀬 修一	そういうイメージで言った訳ではない。コースは講師に任せていた。
田中委員	質問	3人は当日の行動目的や行動範囲を他の先生が分かるように説明をしていたか。それとも少し足りないと思ったか。	猪瀬 修一	見る限りで危険な箇所には行かないようについて話はしていたが、どちらとも断言はできない。今日はロープを使わない、などの話はしていた。
田中委員	質問	訓練目的や行動範囲は自分の耳では聞いていないということでおろしいか。	猪瀬 修一	今日は歩こう、という目的は伝えていたし、範囲についてもある程度話していたと思う。
田中委員	質問	当時菅又教諭が言ったことを再現できるか。	猪瀬 修一	はっきりと思い出せない。
田中委員	質問	引率の先生が各班に説明するということになったか。	猪瀬 修一	まずは全体に菅又教諭より説明があり、その後各班で説明した。
田中委員	質問	菅又教諭がどのように生徒を集めて話したかは分からぬということでおいか。	猪瀬 修一	説明をした時、隣にいた。
田中委員	質問	菅又教諭はどのように説明をしていたか。	猪瀬 修一	今日の行動の変更について、何をするのか、昨日やったことを思い出しながらやろうということを中心に話した。
田中委員	質問	今の話は菅又教諭が直接話していたことを再現したものか。	猪瀬 修一	そのようなことを話していた。
田中委員	質問	具体的にはどのようなことか。	猪瀬 修一	強く記憶しているのは、今日の行動は茶臼を目指すのではなく、この周辺で歩行訓練することや、ロープワークではなく人が歩いていない所を歩いて行こうと話していた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	今の話では菅又教諭からラッセルという言葉はないが。猪瀬教諭はいつどの場面でラッセルと言ったか。	猪瀬 修一	菅又教諭がはっきりとその言葉を言ったかは覚えていない。自分は、全体に話した後班ごとに集まった際に声をかけた。
田中委員	質問	本部での45分間はどのようなことをしていたか。	猪瀬 修一	8時過ぎに生徒たちを見送り、車に戻り、旅館で朝食。部屋に戻り4人分の布団の片付けや、自分の着替えを車に運んだ。精算の所でお金を数え、精算を終え車に乗り込もうとした時に小林教諭が来た。
田中委員	質問	片付けとは具体的にどのようなことか。	猪瀬 修一	着替えや布団たたみ、トイレや歯磨き。荷物は多くはなかったので車と旅館との往復は2~3回。
田中委員	質問	どのような荷物か。	猪瀬 修一	書類等が詰まつたバスケットと他何か1個。後は自身の着替え。
田中委員	質問	無線機や携帯電話を身につけていなかつた、格別の理由はあるのか。	猪瀬 修一	正直安心していた。予想もしていなかつた。普段の大会等の3日目には、連絡を密に取ることがなかつたので、普段からポケットには入れていなかつた。今回は車と部屋が離れていたが、いつもは近くにあるので、無線機などは持ちながらではなく、椅子に置いた状態で、何か聞こえた時に反応するようになっていた。
田中委員	質問	先ほどの話に戻るが、樹林帯に登るという可能性は本部に戻った時に考えていたか。	猪瀬 修一	通報を受けて、ロッジから見える範囲の中に生徒たちの班が全く見えなかつたので、どこに行ってしまったのか、どこで雪崩が起きたのか分からなかつた。スキー場に雪崩が来たと思っていたので、それが見えなかつたので、びっくりした。無線で場所や状況を呼びかけた。どこまでの範囲という認識は、本部の中でははっきりとは持つていなかつた。
田中委員	質問	本部にいた時に、けが等の連絡が来ることを全く考えていなかつたのか。	猪瀬 修一	その時は緊急性のある連絡が来るとは思つていなかつた。
田中委員	質問	そのような連絡が来るとは普通だと思うがその時は考えていなかつたのか。	猪瀬 修一	自分の中では安心していた。
大西委員	質問	今までにもこのような計画変更はあったか。	猪瀬 修一	委員長になってからは、昨年の2日目はコース変更をした。全く雪がなかつたので、雪の上を歩かせるために裏側に回った。
大西委員	質問	変更はよくあることだが、事前には考えていなかつたか。	猪瀬 修一	天候によって何がベストかを相談してきたので、その時その時に応じてとなつていて。
西村副委員長	質問	歩行訓練と考えていたということなので、樹林帯を登らなくても目的は達成できると考えていたか。	猪瀬 修一	その時に自分がちゃんと判断していたかといふと、菅又教諭らを頼り切っていた所があるので、自分の中で訓練の目的がはっきりあつたかといふと、断言はできない。
西村副委員長	質問	自分が引率教員だった場合、樹林帯に入つて行ったか。	猪瀬 修一	自分が委員長になってからは、本部に一人残るということが多く、6年間他の教員に任せてしまつていて、自分がどういう行動を取るかは考えなくなつていて。
西村副委員長	質問	3日目で歩行訓練に変更というのは以前にあったか。	猪瀬 修一	3日目に変更といふのは、記憶している中ではなかつた。茶臼まで登れず引き返してきたということはあった。周辺でやろうというのは初めて。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
西村副委員長	質問	第3ゲレンデは危険だと認識していたが、今回の斜面は雪崩が起きると考えていたか。	猪瀬 修一	周囲からはよく言われるが。そこに行ったのは1・2回だが、雪が少ない時に行つたので、そこが危険だとは思っていなかった。
西村副委員長	質問	本部の果たす役割とは何か。	猪瀬 修一	講習会の進行ができるだけスムーズに行われることと、今回達成できなかつたが、生徒たちの安全や色々なことに配慮できること。
西村副委員長	質問	これから本部の体制はどうにするべきか。	猪瀬 修一	引率教諭も少なくなってきており、本部にいるのが自分一人。他の教員には生徒たちにできるだけ付き添つてほしいという思いがある。本部には自分一人で色々なことに配慮がしづらい。複数人で必ず待機しなくてはならないと思っている。リスクは回避できたはずだが甘かった。何かの時に対応できる体制をどんな短い時間であっても取らなければならなかつた。
北村委員	質問	このスキーフィールドでの歩行訓練は、以前に行つたことはあるか。	猪瀬 修一	講習会として実施したことはある。自分も樹林の上を行つたことがある。(資料の③左隣辺りを指さす)
北村委員	質問	そこを菅又教諭や渡辺教諭もスキーフィールド周辺と考えるか。猪瀬教諭はどうか。	猪瀬 修一	それは分からぬ。私はこの上の部分は入らない。
北村委員	質問	ではスキーフィールド周辺とは厳密にはどの辺りか。	猪瀬 修一	ゲレンデであると思うが、はっきりとは言えない。
北村委員	質問	安全だと思った根拠は。	猪瀬 修一	最初の記者会見で絶対と言つてしまつたが、短い時間の中なので、危険が伴う場所には行かないと思っていた。
北村委員	質問	危険な場所というのは他の教諭と共有されていたか。	猪瀬 修一	コースの取り方は任せていたので、コンセンサスは取らなかつた。
北村委員	質問	菅又教諭や渡辺教諭になぜ頼つたか。菅又教諭は年齢も若い、指導者の資格も取得していたが渡辺教諭は年齢が上で、資格はない。	猪瀬 修一	菅又教諭は経験が豊富。渡辺教諭は委員長を経験しているし、判断力もある。
北村委員	質問	他の先生たちに対し、危ないから止めるようにと指示はできなかつたか。	猪瀬 修一	信用していた。普段から指示はしない。色々言える間柄だとは思つている。先輩だから絶対ということはない。指示を出したからと言つて反対されたこともない。
大西委員	質問	雪山の技術を身につけるような顧問間での教育システムはあったか。	猪瀬 修一	若い頃は頻繁にあった。徐々に少なく、できなくなってきた。忙しかつたりで企画しても集まらない。研修がやりづらくなってきた。
大西委員	質問	研修がやりづらくなつた原因は何だと思うか。	猪瀬 修一	顧問になつた当時は、3月の顧問会議には県(県教委)が来つた記憶があるが、今は専門部に投げられており、出張等がしづらい。
大西委員	質問	国立研修所に高校の教師を育てるようなものがあればどうか。	猪瀬 修一	5年10年も継続していくと、そういうものにチャレンジしようと思うが、山岳部の顧問になつてくれる人が少ないので、厳しい研修はハードルが高く参加者は少ない。

【検証委員会聞き取り結果】

聴取日:平成29年7月29日(土) 16:40~17:20

記録係:指導主事 吉川 知宏

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	第一次報告書について、何か指摘するところはあるか。	渡辺 浩典	2班の行動開始の部分で冗談めいた話をしているが、誤解されないようにまとめてほしい。始めから上を目指していたと取られないように。
田中委員	質問	講習会の一日目の夕方、27日の朝にかけて確認し合ったが、27日の朝は気象状況はどう分析していたか。	渡辺 浩典	情報機器を通じての情報収集はしなかった。
田中委員	質問	計画変更を3人で話し合ったが、スキー場周辺はどの辺りか。	渡辺 浩典	ゲレンデと、樹林がついている尾根筋の一番上の部分。
田中委員	質問	訓練目的はどう考えていたか。	渡辺 浩典	新雪が着いたので、最近冬山合宿をやっている学校が減ったので、新雪に触れるということ、キックステップを新雪でやる、ということ。
田中委員	質問	ラッセル訓練という言葉が出てきたか。	渡辺 浩典	その言葉が出たかは定かではない。一般にいう、すごい雪をかき分けるものではない。新しい雪をキックステップで踏むことである。
田中委員	質問	訓練の範囲は他の先生にはどの程度伝わっていたか。	渡辺 浩典	菅又教諭や猪瀬教諭は見える範囲を手で「この範囲」と示していたので理解できていたのでは。分からぬ先生は個別に聞いていた。ゲレンデの向こうの尾根も含めて「この辺」と指していた。
田中委員	質問	その時に猪瀬教諭はいたか。猪瀬教諭も菅又教諭と同じように尾根筋を含んだ所だと考えていたか。	渡辺 浩典	猪瀬教諭もその場にいたと思う、そう考えていたはずだ。
田中委員	質問	それは看板を指してなのか、実物なのか。	渡辺 浩典	実物である。尾根自体を指していたと記憶している。その際、私が奥の方は雪崩の危険性があるんじゃないかと指摘して、講師の先生が分からぬようだったので、それを受けて説明した。
田中委員	質問	生徒たちに対しては誰が説明したか。	渡辺 浩典	全体への説明は主任講師の菅又教諭、その後各班の先生が生徒に伝えた。
田中委員	質問	先生ご自身は、樹林帯に入つて訓練をするという認識か。	渡辺 浩典	そうである。
田中委員	質問	樹林帯に入るコースを選択した理由は。	渡辺 浩典	始まった時に、第3ゲレンデの間を通り抜ける樹林を抜けた辺りを目指して行動していた。雪崩の危険性があると指摘した所が周知されていないようだったので、自分はなるべく端の方を歩いて、自分よりも上に行く班がいたら、行かない方がいいと分かるように上方を行っていた。次に一本木を目指した。1班の先頭が追い抜いて一本木に着いた。すぐ近くの尾根の方に行くと思ったので、それよりも上を選択した。
田中委員	質問	樹林帯で登ったのは、尾根か沢筋か。	渡辺 浩典	支尾根の部分。ラッセル訓練にはふさわしい場所である。
田中委員	質問	自分の班の体調の確認は行ったか。	渡辺 浩典	体力に差があるので、2班は前後ばらつきが出た。真ん中より後ろ側で様子を確認しながら。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	体調の具合について気づいた所は。	渡辺 浩典	遅れ気味になった生徒はいた。新しい雪を踏むことが訓練の目的だったが、遅れている生徒には前の生徒が踏んだ所でいいと指示した。
田中委員	質問	引率教諭はお互に連絡を取り合う約束をしておくべきだったと思うか。	渡辺 浩典	通常、講習の時には適宜連絡を取り合っているので、お互い分かっていたのでは。どこかの班は途中でどのような行動をするか交信したと聞いている。
田中委員	質問	菅又教諭は他の先生に「何か問題があれば自分に連絡するように」と行った事実はあるか。	渡辺 浩典	3日目の朝はなかったが、2日目の行動の時にはそういう打合せがあったので、その流れで動いていたと思う。
田中委員	質問	スキー場から尾根に登り切った所で、風が出てきたということがあり、下山を始めたが、その理由とは。	渡辺 浩典	ゲレンデ周辺で訓練を行うと決めたのは風がなかったからであって、風が出て条件が変わったので、無理して訓練する必要はないとした判断した。
田中委員	質問	それは雪崩の危険性を感じたからか。	渡辺 浩典	そうではない。風で判断した。
田中委員	質問	風の判断と雪崩の判断というのは、全く違うものか。	渡辺 浩典	その場では雪崩は考えていなかった。平坦部だと認識。
田中委員	質問	下山をする時に上部を少し見たとあるが、何を認識したか。	渡辺 浩典	自分より上に1班は行っているのだな、と思った。
田中委員	質問	1班の隊列は見えなかつたという前提の話か。	渡辺 浩典	隊列は見えたので1班だろうと思った。
田中委員	質問	下山を決めた段階で菅又教諭に連絡を取ろうと思わなかつたか。	渡辺 浩典	早く生徒たちを風の当たらない所に連れて行くことを優先して考えていた。
北村委員	質問	キックステップで新雪、と言つたが、新雪とは何か。	渡辺 浩典	新雪とは誰も踏み入れていない雪のことであり、沈み込むようなもの。
北村委員	質問	キックステップとはどういうことか。	渡辺 浩典	本来のキックステップは堅い斜面で滑らないようにするもの。膝を支点にして蹴り込む。
北村委員	質問	スキー場と樹林を指しながら言葉で説明したのか、「この辺です」という言い方をしたのか。	渡辺 浩典	言葉そのものは正確には覚えていないが、手で示した。
北村委員	質問	菅又教諭も猪瀬教諭もスキー場周辺というのはスキー場と樹林を指しているという認識か。	渡辺 浩典	そうだと思う。
西村副委員長	質問	風で下山を決断したが、もし風が吹いていなかつたらどうしたか。	渡辺 浩典	上に行くという考えはなかったので、横の樹林の斜面で何度か上り下りするつもりだった。
西村副委員長	質問	1班と菅又教諭は樹林帯ではない所を登つており、登っている範囲が他の先生と認識が違うことが明白だが、その時どう考えたか。	渡辺 浩典	菅又教諭もいるので、大丈夫だろうと考えていた。登山の技術については菅又教諭は十分にあるので菅又教諭が判断しているのなら大丈夫と考えた。
西村副委員長	質問	右の所から雪崩を感じたとあったが、降りているということは背にしていたのでは。	渡辺 浩典	トラバースしていた。ちょっとした雪が少し当たり、見た瞬間に雪崩に巻き込まれた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
西村副委員長	質問	どのような雪か。	渡辺 浩典	分からぬ。気がついた時には周りは白といふか灰色だった。空気を沢山巻き込んでいる雪。
西村副委員長	質問	雪崩注意報が出ていたというのは知っていたか。	渡辺 浩典	1日目の夜にテレビを見ただけなので、その時はそこまでの情報はなかった。2日目以降はテントなので分からなかった。携帯も古いの型なので見なかつた。
西村副委員長	質問	雪崩注意報に対してどういう認識なのか。	渡辺 浩典	留意すべきだとは思うが、春先などはかなり低い可能性で広い地域に出されるので、現場で判断する必要があると思う。
西村副委員長	質問	今回の雪崩注意報は春先のものとは違うということを今後のために知っていてほしい。	渡辺 浩典	了解した。
戸田委員長	質問	現在実施している、顧問の資質向上のための研修の問題点等は何か。	渡辺 浩典	春の研修会は最近は参加率がいいが、研修会には呼びかけても来ない場合もある。以前は力のある先生もあり、顧問の研修を冬にアルプスで行っていたが、最近できない。
戸田委員長	質問	できなくなっている理由は。	渡辺 浩典	そこまでの技術を持っている者がいないのと、意欲。以前は継続的に顧問が海外遠征をしていたが、それがレベル向上やモチベーションの向上になり、結果的に生徒の安全につながったと思う。
西村副委員長	質問	救助活動に参加されたが、スコップは十分にあったか。	渡辺 浩典	スコップは生徒に2本持たせていたが、使うという考えに及ばなかった。生徒もけがをしていたり、安全確保を優先していた。
西村副委員長	質問	研修会の達成目的を考えた上で、いわゆる「三種の神器」は必要だと思うか。	渡辺 浩典	ビーコンまでは必要ない。ビーコンを持たせるということは雪崩に遭うということを意味する。この講習会はそのようなものではない。

【検証委員会聞き取り結果】
 聴取日:平成29年7月29日(土)
 記録係:荒井康行(スポーツ振興課)

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	第一次報告書を読んで、事実としてこれは違うという点があるか。	菅又教諭	P41の6時10分頃の最後のところで、(渡辺先生は)「～最終的には計画変更に異を唱えなかった。」とあるが、どちらかと言えば、ラッセルを体験させると計画したのは渡辺先生であり、計画変更に異を唱えなかったというところが違う。 →その後、田中委員からの様々な質問により結局変更はなし ※ただ、菅又先生は、田中委員からの質問により、最終的には「じゃあそのままで(直すところは無し)」と落胆したような様子であった。詳細は下記に記載。
田中委員	質問	今の話は、「当初、峰の茶や跡近くまでの往復を提案したが、～」とあるが、これはあっているか。	菅又教諭	それはあっている。私が提案した。
田中委員	質問	次に「～より短い時間で～～スキー場周辺での行動に変更することとなつた。」というところはあっているか。	菅又教諭	報告書自体はあっている。
田中委員			菅又教諭	どちらかというと、渡辺先生のほうから、このスキー場の上の方でいいんじゃないとあつた。
田中委員	質問	一方というところがあるが、渡辺教諭は、「雪が降っているが、～安全である～」とあるが、これは渡辺先生が言ったことか。	菅又教諭	渡辺先生が考えたことである。
田中委員	質問	このあと、「～最終的には計画変更に異を唱えなかった。」とあるが、これは菅又先生のことか。	菅又教諭	そうです。
田中委員	質問	(渡辺先生が)考えて提案したと、それに菅又先生が異を唱えなかったということか。	菅又教諭	違います。
田中委員	質問	では、どういう風に変えた方がほうがいいといふご意見か。	菅又教諭	スキー場上部でという話が、渡辺先生からでした。そして、私の方もそうですね、それでいきますかという感じ。
田中委員	質問	それでは、事実として違うところはどこか。	菅又教諭	私の方で提案して、渡辺先生の方で異を唱えなかったというところ。どちらかというとスキー場の上部でといったのは、渡辺先生である。
田中委員	質問	菅又先生では、③の提案したが、ここはいいのか。	菅又教諭	はい。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	「当初、峰の茶屋跡～スキー場周辺での行動に変更することになった。」と供述している。とあるが、これは菅又先生でいいか。	菅又教諭	はい。
田中委員	質問	その次は渡辺先生が言ったことが書いてあるが、どこを削って、どこを加えればいいのか。	菅又教諭	・・・。
田中委員	質問	まず一つずついきますか。「雪が降っているが、那須として～学校がへっているので」と現状認識を言ったのは渡辺先生でいいのか。	菅又教諭	はい。
田中委員	質問	「ラッセルを体験させるにはよい機会であり」というところは、あっていいか。	菅又教諭	はい。
田中委員	質問	次に「～スキー場付近の樹林帯の尾根筋であれば安全であると考え、」とあるが、これは二人の意見かそれとも菅又先生の意見かか。	菅又教諭	この時点では、樹林帯まで上がってという話はでていない。
田中委員	質問	では、ゲレンデあたりをイメージしているのか。	菅又教諭	はい。
田中委員	質問	では、ゲレンデであれば安全であるという話かでしたということか。それはどちらから出たのか。	菅又教諭	渡辺先生から、スキー場上部でいいんじゃないかという話が出た。
田中委員	質問	ということであれば、渡辺教諭となっているので、スキー場のゲレンデであれば安全であると考えたいことであれば、間違いではないよね。	菅又教諭	はい。
田中委員	質問	最終的には計画変更に異を唱えなかったというのも間違いじゃない。	菅又教諭	じゃあそのままで大丈夫です。
田中委員	質問	そのままでじゃなくて、付近の樹林帯というところが違うと言われたいのか。	菅又教諭	はい。
○※ここまでが、計画変更に異を唱えなかったというところの詳細。				
田中委員			菅又教諭	次に、P41の7時20分頃の②で天候は終日雪の模様のところが違う。
田中委員	回答	終日雪とはやや強調した印象。	菅又教諭	P46の8時の渡辺先生の会話で菅又教諭が『2班は茶臼岳まで行くぞ。』と書いてあるところが良く分からない。
田中委員	回答	このことは、生徒が尊敬する菅又先生の名前を使って、生徒を鼓舞するつもりでいったことである。		

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	3月27日6時の時点で、気象状況についてどういう認識だったか。また、ラジオやテレビ等で気象状況を確認したか。	菅又教諭	5時に起床。その後センターハウスまで300m~400m歩いて雪の状況確認。昨日から15cm程度の積雪と確認。初日の講習会前にはテレビ等で天気を確認はしたが、3日目の6時の段階では、ラジオ等での確認はしていない。具体的な天気については、本部で確認してくれると思っていた。私はスマートホンを持っていたが、3日間バッテリーがもたなかつたので、確認はしなかった。
田中委員	質問	センターハウス前で引率者に対し、行動説明の具体的な内容はどのようなものだったか。説明した内容をそのまま教えていただきたい。	菅又教諭	はっきり断言はできないが、今日はあまり天気が良くないので、時間を短縮し行動する。茶臼岳への往復ではなく、スキー場の上の方を使って練習しましょう。その際、ラッセルをしたことがない学校があるので、とラッセルという言葉を使った。ラッセルとは、渡辺先生から出たもので、私はラッセル訓練という言葉は使っていない。前日にキックステップの練習をしているので、それを意識して行うように指示をした。
田中委員	質問	説明した際の行動範囲は、ゲレンデと言ったのか、もう少し広い範囲をいったのか。	菅又教諭	ゲレンデや、ゲレンデの一本木のところ。さらに樹林帯に入って、尾根に出たところまでと説明。
田中委員	質問	説明した行動範囲は、引率した先生方は理解したと考えるか。	菅又教諭	行動範囲は、全て強制ということではない。その時、ゲレンデやゲレンデの一本木、そしてそこから上がってという話をした。
田中委員	質問	その説明の後、5班女子隊の小林先生が猪瀬先生に行動範囲について、ゲレンデでもいいですかと質問しているのは、行動範囲の説明が徹底してなかったからだと思うがいかがか。	菅又教諭	実際、その時には私も猪瀬先生と一緒にいた。全体説明の時にはよく分からなかったのではないか。小林先生は、経験があまりないので、質問したのではないか。
田中委員	質問	ラッセルをします、ということと、行動範囲はゲレンデ内あるいは樹林帯までということを引率者は共通して理解したという認識か。	菅又教諭	完全に理解されたかわからない。私は理解していると思っていた。
田中委員	質問	どういうルートを通って樹林帯に入るかということは、各班に任せていたようだが、どの時点で各班に任せていたのか。	菅又教諭	センターハウスに集合した時に、渡辺教諭から樹林帯をつかって訓練しよう、昨日と同じ班ごとの行動にしようという話だった。私は当初ゲレンデ内での訓練という認識であったが、そのことを了承し、先生方に説明した。
田中委員	質問	各班が行動選択を任されて樹林帯を上がっていったが、そのことについて、先生方に説明した事実はあるか。	菅又教諭	そのことは話した。一本木のところまでいって、一本木のところから樹林帯に入り、尾根のあたりまでを進んでいくという話をした。
田中委員	質問	ゲレンデから樹林帯に入るにあたって、菅又先生自身は、どのあたりまでを訓練範囲と考えていたか。	菅又教諭	樹林帯を尾根上に上がっていったところまでをイメージしていた。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	実際に上がっていくときには、支尾根の高いところをラッセルして上がっていったのか、沢筋を進んでいったのか。	菅又教諭	沢筋は雪崩の危険性があるので、支尾根の高い部分をいった。
田中委員	質問	進んでいく際に、元気な生徒とそうでない生徒がいると思うが、それらの生徒に対する配慮したということはあるか。	菅又教諭	むしろ、置いて行かれてしまうのは私のはうであった。一本木までは横一列で進み、その後リーダーを中心尾根の方を上がっていった。そして、途中で足がつりそうになった生徒が出た。そのことを前の生徒に伝えたが、リーダーから「もう少し上がりましょう。」という話があったが、「足がつりそうな生徒がいるので休もう」といことで、平らなところではなかったが休んだ（地図②）。
田中委員	質問	みんなが止まった時に、菅又先生が（■君を）手当したということだが、どのようなことをしたのか。その際に、■君の名前はわかつていたか。	菅又教諭	他の学校であったので、■君の名前はわからなかった。■君には、水分と糖分を取るように指示した。マッサージ等については、軽く行ったような気もするが、よく覚えていない。
田中委員	質問	各班で何か起こった際に、伝え合うルールはできていたのか。（携帯電話か何かで）	菅又教諭	何かあつたら無線で連絡を取り合うことになっていた。ちょうど地図②で休んでいる際に、各班に連絡した。
田中委員	質問	連絡した事は、■君が足をつったことがきっかけなのか。	菅又教諭	そのこととは関係はない。
田中委員	質問	その他に体調の悪い生徒がいるか確認はしたか。地図②以降で。	菅又教諭	特にではない。地図②での休憩の際に、「大丈夫か」と声をかけ、「大丈夫」とのことであったので1分ぐらい休んだ。
田中委員	質問	この休憩の機会に弱層テストをしたことはあったか。	菅又教諭	休憩した場所は、樹林帯の斜面であったため、本格的な弱層テストではないが、昨日おこなった弱層テストの要領でその場で自分のところを掘ってくださいといった。雪の層がどうなっているか確認した。
田中委員	質問	この雪を掘ったところは全員に見せたということか。	菅又教諭	その場で掘ったところを見せた。斜面において一列で休んでいたので、自分の場所で掘つてみなさいと言った。
田中委員	質問	それでは、掘るよう指示をして、各生徒にさせたということか。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	生徒によっては、弱層テストのようなことをやつたと、全く認識がないものがいるが、それはなぜか。	菅又教諭	そちらについてはわからない。
田中委員	質問	弱層テストに関する指示を出していたのは、隊列のどの辺においてか。	菅又教諭	私は一番後ろであったが、前まで聞こえるような声で指示した。止まれなどの言葉も後ろから大声で指示して伝わっていた。
田中委員	質問	弱層テストも大声で言ったので、伝わったと思っていたのか。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	いろいろな時間をお話いただいているが、一番はっきりしている時間は書かれているルートの中だといつか。	菅又教諭	③の8時半はほぼ正確。9時半までに戻る予定で7時50分頃に出発して、あと1時間くらいだなと思った。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	③のところで菅又先生の指示で止まったということ。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	視界は前方の岩からかなり下にいる班までよく見えたとあるが、前方の岩とはどの岩を指すのか。	菅又教諭	天狗の鼻だと思っていた。
田中委員	質問	⑥の左側に比較的大きい岩のようなものが見えるが、そのことではないか。	菅又教諭	どっちだか覚えていない。
田中委員	質問	図では天狗の鼻を意識してルートがのびているが、実際に進んでいる隊列の位置関係によると、もっと左の方に向かって進んでいたのではないか。そうすると前方の岩は⑥の左の岩で、その下が風よけになる可能性があるのでは。	菅又教諭	
田中委員	質問	そのことは初めて認識した感じか。	菅又教諭	左側に見えていた。
北村委員	質問	お互いに言っている岩とは、生徒とお互いにわかつていたのか。	菅又教諭	そうである。目に見えていた。
北村委員	質問	その岩は斜面に対してどういう位置に見えていたか。	菅又教諭	その岩に対して、右の方から回り込むかたちであった。
北村委員	質問	その岩の周辺の様子はどんなふうに見えたか。例えば、岩の上にまだ斜面があったのか。	菅又教諭	岩の上にまだ斜面があったと思う。
田中委員	質問	8時35分のところで、小さな木が数本生えているところで生徒が止まるとあるがこれは正しいか。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	その8時35分のことろで、今回の訓練の目的は達成されたと思ったのではないか。	菅又教諭	そうである。そのため、④の所で私は「ここまでにしよう」と言った。
田中委員	質問	前の方の元気のいいメンバーからは、もう少し進みたいと言われたんですね。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	前の元気のいいメンバーと菅又先生はどのくらい離れていたのか。	菅又教諭	20mくらいである。
田中委員	質問	8時40分のところで、⑤のところで止まるとあるがこれは間違いないか。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	ここでは、雪崩の危険性についてはどう考えていたか。	菅又教諭	斜面もきつくなるし、私の今までの経験と、雪もしまっていた感じ。一度強く「急な斜面になると滑落の危険があるので戻ろう」といった。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	「危ないので戻ろう」とは雪崩ではなく、滑落のことか。	菅又教諭	そうである。もし雪崩の危険性があれば行かなかった。
田中委員	質問	その後、雪の状態や天候、斜面の角度から大丈夫だろと判断し、岩の近くまで行って帰ることにしたとあるが、このときの岩とは⑥の左側の岩の可能性もあるか。	菅又教諭	そうかもしれない。進行方向の左上に岩が見えていた。最初の頭の中では、他の岩以外は見えていない。もし、3月27日に⑥の左側の岩が大きく見えていたならば、それを目指していた可能性もある。
田中委員	質問	その時の雪の状態とは。しまった状態ということか。	菅又教諭	そうである。
田中委員	質問	樹林帯を過ぎて斜面に上がってからは弱層テストはしていないのか。	菅又教諭	していない。
田中委員	質問	弱層テストは、場面が変わるとたびにした方がよいという認識か。	菅又教諭	そうであるが、その時には、雪崩を想定ていなかったので行わなかった。
田中委員	質問	天候についての認識はどうか。	菅又教諭	その時には天気はよかったです。視界も良く樹帯のかなり下の方まで見えた。
田中委員	質問	斜面の角度はどのくらいだと雪崩の危険性があると思われているか。	菅又教諭	国立登山研修所での研修によれば、35度以上は危ないという認識である。
田中委員	質問	現場はどれくらいの斜度であるか。	菅又教諭	25度から30度くらいの斜面であると思う。正確に分度器等で測ったわけではない。35度をこえると登るのにかなりきついという認識。
田中委員	質問	一班の行動が他の班に比べると突出しているようであるが、この行動を他の班の講師に連絡はしなかったのか。	菅又教諭	していない。
田中委員	質問	このことは今考えるとどうか。	菅又教諭	連絡をした方がよかったです。私は、この場所に行行ったのが今回初めてだった。また、樹林帯や、このあたりを使って訓練をするというのは、渡辺教諭に言われておこなった。先日の5月28日の高体連専門部による遺族や被害者に対する説明会の際に、10年前事故現場周辺で訓練をしたことがあると初めて知った。そのことがあったので、渡辺先生は樹林帯を上がつてという言葉がでてきたんだなあと思った。
田中委員	質問	他の先生に対し、訓練の行動範囲をどこにするかという時に、樹林帯の尾根筋を手で示して、この辺までにしようと説明した事実はあるか。	菅又教諭	ある。
		そうすると、その説明した範囲に留まっていればよっかったということか。		今考えると、樹林帯を抜けたところで、2班が私の右前のところに上がってくのが見えた。その時に、このコースで良かったんだと思った。樹林帯を抜けたところで、渡辺先生に連絡しようと思った。しかし、渡辺先生が2人の生徒の名前を大声で叫んでいたため、無線連絡しなかった。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
田中委員	質問	菅又先生はなぜ、あの斜面に進んでしまったのか。事後的客観的にどう分析できるか。		当初は、私も樹林帯の先くらいまでと考えていた。しかし、生徒の要望もあった。それに対して、何回か「ここまで」といった。大田原高校の生徒は、普段接している生徒ではなく、名前もわからなかつたため、止められず進んでしまった。 毛塙先生は生徒の名前や性格をわかっていた。私が強く止めた後、生徒に岩まで行きたいと言われた。その時、大田原高校の生徒が、真岡高校の生徒に対し競争意識を持っていたのかもしれない。真岡高校の生徒が見えたときに、もう少し上に行きたいと思ったのかもしれない。私が最後に「もうここまでで戻ろう」と強く言ったときに、毛塙先生が「講師の先生がここまでいっているんだから帰ろう」と言ってくれればという気持ちもある。
田中委員	質問	毅然とした態度を取りきれなかったという総括があるが、その点についてはそういう面があると理解しているか。	菅又教諭	最終的には自分で大丈夫だろうという判断をしてしまった。
田中委員	質問	講習会という枠組み、自主登山という枠組みとある中で、講習会としては毅然とした態度が必要であったということになるのか。	菅又教諭	その時に止められればよかった。私の方でもその時には、起こらないだろうと思って進んでしまった。
北村委員	質問	岩についてであるが、斜面の途中にある岩なのか、スカイラインの切れ端にに見えた岩なのかどちらを指していたのか。	菅又教諭	その時には一つしかないイメージであった。
北村委員	質問	岩の上に斜面があったのか、無かったのか記憶はあるか。(斜面の途中なのか、岩が頂上のようにだったか。)	菅又教諭	岩の上には斜面がなかったように思うが定かではない。
北村委員	質問	当時、目標としている岩に近づいている実感はあったか。その際、岩の上に向かって斜面はあったか。	菅又教諭	近づいている実感はあった。その時には、斜面はなかったように思う。
北村委員	質問	その岩にはだいぶ近づいたのか。具体的はどれくらいか。	菅又教諭	1mとか10mとかではなく、もっと遠かった。10mだと歩いてすぐに行けるので、もう少し時間がかかる認識があった。
北村委員	質問	ここから、後の壁までが10mくらいであるが、このくらいまで接近したのか。	菅又教諭	ここまででは、接近してはいない。
北村委員	質問	雪崩があったときに、菅又先生が立っている場所の雪が動いたという実感はあるか。	菅又教諭	わからなかつた。前を見たら、生徒と毛塙先生が頭の方からのしかかってきたかたち。そしてすぐに雪をかぶって飛ばされてしまった。
西村委員	質問	その時の雪崩の高さは、先生より高かったか。	菅又教諭	高かった。私の全体が覆われるくらい。乾燥機の中でグルグルまわっているような状態であった。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
西村委員	質問	最初にぶつかったときにはどうだったか。	菅又教諭	最初ぶつかったときにすぐに真っ暗になった。
北村委員	質問	その時は、空気を巻き込んだ雲みたな感じで暗くなったか。	菅又教諭	一瞬だったので（わからない）。私は全体が雪崩に巻き込まれたことはなかったので（わからない）。
北村委員	質問	雪崩はブロックなのか、空気を巻き込んだようなもので飛ばされたのか。	菅又教諭	空気を含んだような状態で、全部が雪と言つても、動ける状態で、先程言ったように乾燥機に入ってしまったような状態。
北村委員	質問	今回のゲレンデは初めてと伺ったが。	菅又教諭	ゲレンデは初めてではない。ゲレンデから上に上がったのは初めてである。
北村委員	質問	もともと、3人で話し合われた講習会3日目の目的はどのようなものか。新雪を歩かせたいということか。	菅又教諭	前日にやった内容を復習する、新雪を歩かせる練習いう2つが目的。
北村委員	質問	最初ゲレンデで歩いていたときには、目的は達成されているが、そのあと、縦一列になってからは、全部のメンバーが新雪を歩くという目的は達成されずに2人だけが交代していたということであれば、その時点での研修の目的からははずれているのでは。目的を達成させなければ、順番に交代されという指示を出すべきであったのでは。	菅又教諭	縦一列になって、ラッセルで進んでいくと着かれるので、次々交代しなさいと指示はした。しかし、実際は2人で交代していた。
北村委員	質問	結果的に2人で交代していた際に、なぜ他の人に代えなかつたのか。	菅又教諭	より多く新雪を歩かせるということも目的であるが、歩行の訓練という目的から考えるとより多く経験させたいと思った。
北村委員	質問	二人は目的を達成されたが、残りの人は達成されていないのでは。	菅又教諭	ゲレンデのところで目的は達成した。
北村委員	質問	それでは、2人の人が目的を達成できて、他の人が目的を達成できない講習会をなぜ継続したのか。	菅又教諭	一人一人の名前がわからなかつたので、そこまでの指示ができなかつた。
西村委員	質問	6時10分頃の段階で、菅又先生はゲレンデ内をお考えていた中で、渡辺先生から樹林帯の話が出てきて違和感を感じなかつたか。	菅又教諭	渡辺先生とは同じ学校だし、何回も山にいっているので、その時には樹林帯のあたりでも大丈夫だろうと考えていた。その時には深く思ひなかつた。
西村委員	質問	樹林帯の話が出たときは、猪瀬先生もいて理解していたか。	菅又教諭	猪瀬先生も理解していた。全体説明の前に3人で話をした。その時に渡辺先生から、樹林帯の話が出たので、3人で確認をした。
西村委員	質問	実質的に弱層テストをやつたということではないのか。	菅又教諭	樹林帯の斜面であったため、雪を掘って層を確認した。
西村委員	質問	弱層テストというよりは、穴を掘って、雪の状況を確認したという程度の認識か。	菅又教諭	そうである。そのため、生徒は弱層テストはやっていないと理解したのかもしれない。

質問者	区分	質問・指示事項等	回答者	回答事項等
西村委員	質問	大田原高校に2人ぐらいリーダー格の生徒がいたようだが、その生徒が引っ張っていく状態だったのか。	菅又教諭	そうである。
西村委員	質問	そのリーダー格の生徒に対し、菅又先生は遠慮があったのは事実か。	菅又教諭	その時に前の方からそういう話が（もう少しいきたい）出て、後ろの生徒からは、反対と言うよりはむしろ行きたいというような感じがあった。最後に「もうここで終わり」と言ったときに、生徒から「お願ひします（もう少し行かせてほしい）」という声があり、考えてた結果、「じゃあいいよ」と言ったときに、生徒からは「やったー」というような感じがあった。
西村委員	質問	樹林帯から離れたときに、先生は大丈夫だろうと判断したわけだが、そのことを他の先生に無線等で連絡はしなかったのか。	菅又教諭	実際には、渡辺先生とそんなに離れていないところを上がっていたので、こちらも渡辺先生も気がついているだろうと思った。もし危険であれば、前にも行ったことがある渡辺先生が止めてくれるだろうという認識があった。
西村委員	質問	このとき雪崩注意報が出ていたのは知らなかったのか。	菅又教諭	3日間の間は確認していなかった。（講習会）前日くらいまでのものだけは見ていた。3月末だと結構な日で雪崩注意報がでていた。
西村委員	意見	このとき出ていた雪崩注意報は通常3月末にでているものと全く別物なので、注意する必要があった。	菅又教諭	そのことにかんしては、本部で確認してもらいたかった。
北村委員	質問	定時の交信の予定はあったか。	菅又教諭	今回は1時間半の行程だったので、定時交信の予定はなかった。2日目については、無線による定時連絡をおこなっていた。
北村委員	意見	そこは残念だった。全体の行動が短ければ、短いスパンで定時連絡をすべきだった。本部が何より定時交信をうるさいぐらいしなければならなかつた。	菅又教諭	何時に交信しようと決めてはいなかったが、2日目には交信はしていた。これまで、大会等では定時交信をしていた。
北村委員	質問	無線機は常に使える状態であったか。	菅又教諭	常に電源がONの状態であった。
北村委員	質問	最初に交信ができるかどうかの確認はしたか。無線機が常に使える状態であったと認識していなかったので失礼した。どこかでそのことを説明したか。	菅又教諭	どこかで説明したわけではないが、無線機が使える状態ではあった。
西村委員	質問	無線機のバッテリーは大丈夫であったか。	菅又教諭	大丈夫だと認識してはいたが、1つの班だけはバッテリーがなかった。

関係各位

那須雪崩事故検証委員会委員長 戸田 芳雄

- 当委員会では、平成 29 年 3 月 27 日に那須町において発生した雪崩事故について検証するに当たり、平成 22 年 3 月 27 日の春山安全登山講習会中に発生した雪崩（以下「7 年前の雪崩」という。）について調査しております。
- お忙しいところ大変恐れ入りますが、7 年前の雪崩に関して次の質問にお答えいただければ幸いです。

1 7 年前の雪崩に関し、次の事項について覚えている範囲で御回答ください。

- ・ 雪崩が発生した際の天候、積雪の状況
- ・ 雪崩発生時刻
- ・ 雪崩に巻き込まれたときの状況（本人及び他の参加者）
- ・ 雪崩発生直後の救助の状況
(自力で脱出できたか、他の参加者に救助されたか、他の参加者を救助したか)
- ・ 負傷の有無（本人及び他の参加者）
- ・ 雪崩に巻き込まれてどのように感じたか

雪崩が発生した際の天候は晴れ、積雪の状況はやわらかな雪が積もっていたかと記憶しています。発生時刻としてはお昼ごろだったと記憶しています。

雪崩に巻き込まれた状況として、雪渓のちょうど真ん中あたりで参加者全員が休憩していたところ、音がして上を見上げたら雪崩が迫っており「雪崩だー！」と叫んだ記憶があります。雪崩からは自力で脱出しました。怪我はありませんでした。

雪崩に巻き込まれたときは流れていく雪の上を腹滑りしているような状態でしたので、事前の講習で覚えた滑落停止の体勢を無我夢中で行っていました。流された直後は恐怖というよりは助かったことへの安堵のほうが強かったと覚えています。

2 7年前の雪崩発生後の対応に関して、次の事項について覚えている範囲で御回答ください。

- ・ 雪崩発生直後、講習会講師、顧問及び引率者から参加者に対し、どのような説明があり、どのような対応があったか。
- ・ 雪崩が発生した2日目の訓練終了後から、講習会が終わるまでの間に、雪崩に関して、高体連、講習会講師、顧問、引率者などから、状況や対応等について説明があったか。
- ・ 講習会終了後、雪崩に関して、高体連、講習会講師、顧問、引率者などから、状況や対応等について説明があったか。また、雪崩について、校長や担任等に報告をしたか。
- ・ 平成22年の春山講習会の訓練時に雪崩が発生したことについて、新入部員に当時の状況を説明するなど、7年前の雪崩に関して部の中で、情報の共有を行ったか。

申し訳ありません。

覚えていないです。

以上、御協力ありがとうございました。